

事業概要

平成 27 年度版



東京都立図書館

平成 27 年 8 月

事業概要 平成27年度版

目 次

I	組織概要	
1	東京都立図書館運営方針	1
2	東京都立図書館運営組織図	3
3	東京都立図書館事務分掌	4
II	主要事業	
1	平成27年度 主要事業	5
2	平成26年度 主要事業報告	6
III	予算・決算	
1	平成27年度 予算	12
2	平成26年度 決算	13
IV	統計資料（平成27年3月31日現在）	
1	所蔵状況	14
2	オンラインデータベースの設置状況	15
3	図書館資料収集・整理統計	16
4	利用統計資料（平成26年度実績）	17
(1)	利用状況	17
(2)	登録利用者数	18
(3)	レファレンス件数	18
(4)	書庫内図書利用冊数	19
(5)	情報リテラシー支援件数	19
(6)	政策立案支援サービス件数	19
(7)	特別文庫室利用状況	20
(8)	音声・映像資料室利用状況	20
(9)	視覚障害者等サービス状況	20
(10)	協力貸出状況	20
(11)	多摩図書館 16ミリフィルム等の貸出数	21
(12)	ホームページ利用状況	21
V	事業実績（平成26年度）	
1	展示等の事業（企画展示・講演会・映画会等）	22
2	区市町村立図書館職員等への研修等	26
3	学校教育活動への支援事業	27
4	職員研修等	29
5	刊行物及びホームページでの情報提供	30
VI	所蔵コレクションの紹介	
1	中央図書館	31
(1)	特別文庫室資料	
(2)	東京資料	
(3)	海外資料	
2	多摩図書館	33
(1)	山本有三文庫	
(2)	雑誌創刊号コレクション	
(3)	児童・青少年資料	
VII	東京都立図書館協議会	34
VIII	資料	
1	東京都立図書館館則	37
2	東京都立図書館沿革	39
3	図書館関係団体・組織一覧	42
4	東京都立図書館ネットワーク概念図	43
5	東京都立図書館シンボルマーク	44
6	ホームページ及びソーシャルメディア	44
7	フロア概要	45
(1)	中央図書館	45
(2)	多摩図書館	48
8	案内図	50

I 組織概要

1 東京都立図書館運営方針

平成 14 年 4 月 1 日

一部改正 平成 18 年 5 月 22 日

一部改正 平成 21 年 3 月 25 日付 20 中図管企第 445 号

東京都立図書館（中央図書館及び多摩図書館をいう。以下「都立図書館」という。）は、情報通信技術が飛躍的に進展する 21 世紀にふさわしい、広域的・総合的情報拠点として、首都東京の中核的公立図書館の役割を担い、図書館資料及び図書館内外の情報の整備・充実に努め、都民及び利用者に対し、等しく良質な図書館サービスを提供することにより、東京の社会、経済、産業、教育、文化等の発展に貢献する。

また、都立図書館は、区市町村立図書館との役割分担のもとに、都内公立図書館、学校及び同種施設等と連携協力し支援を図ることにより、東京の図書館サービス全体の向上に寄与する。

これらを目的として、都立図書館の運営及びサービスに関する事業の方針を定める。

【基本方針】

- 1 都立図書館は、中央図書館を統括機能の有する中心館とし、多摩図書館を合わせて一体的な運営を行うとともに、各館が機能及びサービスを分担する。
- 2 都立図書館は、図書館サービス指標を設け、効率性、効果性、迅速性等の経営的視点を重視した運営及び事業を展開する。
- 3 都立図書館は、来館者、非来館者を問わず、都民及び利用者が高度・高品質な情報サービスを享受できるようサービス提供環境を整備し、利用者の多様な学習活動や調査研究活動を支援する。
- 4 都立図書館は、資料の継続的、網羅的な収集を行うとともに、適切な資料管理を行い、将来にわたる利用のため図書館資料の長期的保存を図る。
- 5 都立図書館は、都内公立図書館や学校等への協力支援を行うとともに、都内公立図書館の相互協力ネットワーク化を促進する。
- 6 都立図書館は、図書館未整備地域に対し、補完サービスを行う。

【具体的方針】

（運営全般に関すること）

- 1 事業の実施に当たっては、本運営方針に則り、必要な要綱、基準等を定めるほか、各年度毎に主要事業計画を定める等計画的な運営を図る。

- 2 運営及びサービスの実施に当たっては、都民及び利用者のニーズ把握に努めるとともに、自己評価や経営指標等の手法を取り入れ、事業について不断の見直し、改善を図る。
- 3 事業執行に当たっては、必要に応じて、専門委員会、プロジェクトチームを設置し、迅速かつ柔軟な実施を図る。
- 4 都立図書館の職員に対し、専門性を高め、サービス向上を図るために必要な研修を行う。また、職員の資質と能力の向上を図るため他団体への派遣等の機会を設ける。
- 5 図書館サービスの普及と利用の啓発を図るために、情報通信技術等を活用し、都民、図書館及びその他関係諸機関に対し、積極的な広報、PR 活動を行う。

(情報サービスに関すること)

- 6 紙媒体資料とともに図書館内外の電子媒体情報等を整備し、広範で、多様な情報サービスを迅速かつ的確に提供する。
- 7 電子図書館の実現に取り組むとともに、情報通信技術の進展と都民の生活行動様式の変化に対応し、利便性の高い図書館サービスの展開を図る。
- 8 図書館利用支援サービスを充実させ、都民の情報リテラシー支援を図る。
- 9 視覚障害者、聴覚障害者、高齢者及び外国人等にも配慮した利用環境の整備を図る。
- 10 子どもをはじめとする読書活動推進のための事業を行うとともに、都内公立学校等と連携して、学校教育に対する協力事業や地域の教育力を高める図書館サービスの支援を図る。
- 11 都の政策立案や実施に対して積極的に支援する。
- 12 社会活動や経済、産業活動等の活性化を支援する情報サービスを行う。

(資料管理に関すること)

- 13 図書館資料は、原則として1資料1点を収集し、将来にわたる利用のため長期的保存を図る。
- 14 書庫は、計画的に管理し、収集、保存、除架、再活用を適切に行うとともに、新たな媒体変換等による情報の長期的保存についても検討する。
- 15 一般には入手困難な専門書や行政資料等の積極的な収集を図る。

(協力支援に関すること)

- 16 都内公立図書館に対し、協力レファレンス、協力貸出、研修等多様な協力事業の展開を図るとともに、区市町村相互間の協力体制の整備を支援する。
- 17 東京都関係機関の図書館及び各種図書館等との連携、相互協力の構築を推進する。また、図書館関係団体等との連絡調整を行い、図書館サービスの発展向上を図る。
- 18 図書館未整備地域からの要望に応じ、資料や情報の提供を行う。

附 則

(施行期日)

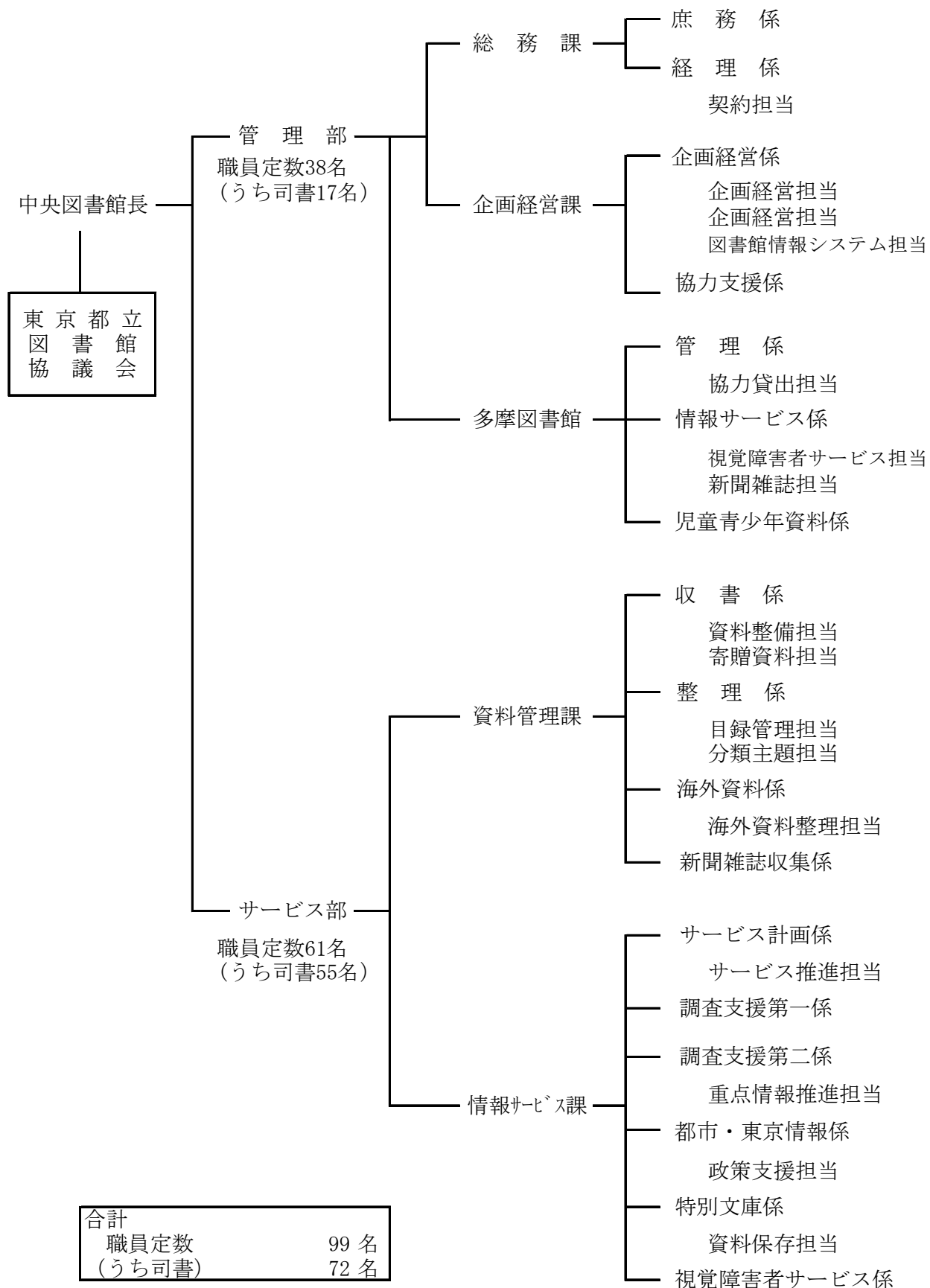
- 1 この方針は、平成14年4月1日から施行する。
- (東京都立中央図書館運営方針の廃止)
- 2 「東京都立中央図書館運営方針(47日図発第234号)」は廃止する。
- (東京都立多摩図書館運営方針の廃止)
- 3 「東京都立多摩図書館運営方針(61教社計多第111号)」は廃止する。

附 則

この方針は、平成21年4月1日から施行する。

2 東京都立図書館運営組織図

(平成27年4月 1 日現在)



3 東京都立図書館事務分掌

担当部署		業務内容
管理部	総務課	中央図書館及び多摩図書館（以下都立図書館）の公文書に関する統括 中央図書館の文書の管理
		都立図書館所属職員の人事・給与（他の課等において処理するものを除く）
		都立図書館の予算・決算・会計（他の課等において処理するものを除く）
		多摩図書館の統括・連絡・調整
		中央図書館の施設及び設備の維持管理
		中央図書館の館内の取締り
	企画経営課	都立図書館の企画・経営計画の策定・運営の統括
		都立図書館の広報・統計・調査の統括、中央図書館の広報・統計及び調査
		東京都立図書館協議会に関すること
		都立図書館の情報通信技術活用の推進に関すること
		図書館情報システムの運営
		都内公立図書館・その他の図書館等、都内公立学校等に対する協力支援
		図書館に関する関係機関・関係団体等との連絡調整
		図書館未整備地域に対する補完サービスに関すること
		都立図書館の館報等の編集及び発行
		図書館職員等の研修
		海外の図書館等との交流に関すること
	多摩図書館	多摩図書館の庶務
		多摩図書館の文書の管理
		多摩図書館の広報・統計・調査
		多摩図書館のサービス計画に関すること
		多摩図書館の図書館資料の選定・収集・整理・保存
		多摩図書館の図書館資料の利用に関すること
		雑誌・児童資料・青少年資料等に係る都内公立図書館等への協力支援
		多摩図書館の図書館資料の情報サービスに関すること
		多摩図書館における視覚障害者に対する資料の朗読・録音等に関すること
		多摩図書館の図書館資料等の複写に関すること
		都内公立図書館等その他視聴覚関係機関に対する視聴覚資料に係る館外貸出
		多摩図書館の利用案内に関すること
		多摩図書館の施設及び設備の維持管理
		多摩図書館の館内の取締り
	資料管理課	都立図書館の資料管理計画に関すること
		都立図書館の資料管理に関すること
		都立図書館の図書館資料の選定・収集（他の課等において処理するものを除く）
		都立図書館の図書館資料の整理基準に関すること
		都立図書館の図書館資料の整理・保存（他の課等において処理するものを除く）
		都立図書館の図書館資料の製本等、資料保全に関すること（他の課等において処理するものを除く）
サービス部	情報サービス課	都立図書館の情報サービス計画に関すること
		中央図書館の図書館資料・機材の利用に関すること
		中央図書館の図書館資料に係る情報サービス及び都内公立図書館等に対する情報サービスに関すること
		中央図書館の特別文庫室の資料の選定・収集・整理・保存
		中央図書館の都市・東京情報サービスに係る資料及び視聴覚資料の選定・収集・整理・保存
		東京都の政策立案支援に係る情報サービスに関すること
		中央図書館における視覚障害者に対する資料の朗読及び録音等に関すること
		中央図書館の図書資料（視聴覚資料を除く）等の複写に関すること
		中央図書館の利用案内に関すること

東京都立図書館処務規則より抜粋

Ⅱ 主要事業

1 平成 27 年度主要事業

3 か年重点目標の達成に向けて、平成 27 年度は以下の事業について特に重点的に取り組み、基幹事業と一体的な取組を進めることで都立図書館を取り巻く課題を解決し、利用者ニーズに即したサービス向上を図る。

(1) 新多摩図書館移転に向けた準備

平成 28 年度中の開館に向け、館全体で準備を進める。移転に伴う諸準備を着実に進めるとともに、マガジンバンクサービス及び児童・青少年資料サービスを更に発展させる視点で、移転後のサービス開始に向けた準備を遅滞なく進める。

【具体的な取組】

新多摩図書館への資料移送及び配置計画の策定、新多摩図書館の書庫を活用した中長期的な資料収蔵計画の策定、中央図書館との一体的な運営による利便性の向上、システム更新準備 等

(2) 都の施策及び都立図書館協議会提言に基づく事業の実施

2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた都の施策や都民、事業者の活動を支援する。また、「第三次東京都子供読書活動推進計画」初年度としての取組や「第 26 期都立図書館協議会提言」の事業化に向けた検討を着実に実施する。

【具体的な取組】

海外情報コーナーの設置、生徒と図書館をつなぐ取組、外国語を母語とする子供の読書活動支援 等

(3) サービス改善に向けた取組と利用実態の把握

都立図書館をより活用される図書館とするための取組を迅速に進めるとともに、今後の館運営のあり方を検討する上で十分な利用実態の把握及び分析を行う。

【具体的な取組】

館内の環境整備、入退館時の利便性の向上、潜在的利用者層向け意向調査の実施 等

3 か年の重点目標（平成 27 年度～平成 29 年度）

- これからの都立図書館に期待される利用者ニーズを的確に捉えるとともに、都立図書館の運営及びサービスの現状（「東京都立図書館運営方針」）に改めて目を向け、より一層活用される図書館に向けた中長期的な館運営の方向を明らかにする。短期的に取り組むべき課題については迅速に対応する。
- 新多摩図書館の開館により、都立図書館（中央図書館・多摩図書館）総体として一層の機能向上を図る。
- 首都の中核的公立図書館として関連機関と連携し、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会開催に向けた多様な活動を支援する。

2 平成 26 年度 主要事業報告

(1) 都立図書館改革の推進

平成 24 年 3 月に作成した「都立図書館改革フォローアップ 3 ヶ年プラン(平成 24 年度～26 年度)」の諸事業を着実に実施した。

(2) 重点的情報サービスの推進

中央図書館では、ビジネス情報、法律情報、健康・医療情報及び都市・東京情報を重点的情報サービスとし、図書、雑誌、オンラインデータベースを 1 階に集中的に配置し、効率的にアクセスできる環境を整備している。

また、資料展示と組み合わせた講演会や相談会の開催、オンラインデータベースによる検索セミナー等の実施により、サービスの定着と新たな利用者への PR に努めた。(実施状況は、p. 22～25 参照)

新刊書については積極的に資料を収集しているほか、都民の課題解決への支援を更に充実するため、法律情報コーナー資料に関して外部専門家による蔵書評価を実施した。

ア ビジネス情報サービス

(ア) ビジネス講演会の実施

「成熟した東京の新産業化－ハイテク化と新たな生活様式に対応－」

講師：関満博氏<明星大学教授>

東京における産業の歴史的展開や、日本の産業の今後の在り方や方策について、専門家による講演会を実施した。

(イ) ビジネス・起業創業相談会の実施（4 回）

(一社)中小企業診断士協会及び(公財)東京都中小企業振興公社と連携協力し、ビジネス情報コーナーの資料等を使用しながら、中小企業診断士が中小企業の経営及び起業について個別相談に応じる相談会を実施した。

(ウ) 就職活動セミナーの実施

(公財)東京しごと財団との共催で、ビジネス情報コーナーの資料を使用しながら就職活動を進める方法や中小企業の情報収集方法に関し、中小企業診断士が具体的なアドバイスを行うセミナーを実施した。

「自分にピッタリの企業を探そう！－図書館の情報資料を使いこなす“コツ”を伝授します。－」

講師：小原伯夫氏<中小企業診断士>

(エ) テーマ別ミニ展示の実施

講演会のテーマに関するものや、「これからの成長産業 医療&介護ビジネス」「経営者が語る成功のコツ」「日本の産業を支える中小企業」「観光ビジネス－日本の文化・魅力の発信－」「新社会人のためのお役立ちビジネスツール」等、創業や業界に関連したテーマで資料展示を 7 回行った。

(オ) その他のサービス

ビジネス情報検索ショートセミナー 「TSR 企業情報ファイル CD・Eyes50」「Mpac」「日経テレコン 21」「eol」等

イ 法律情報サービス

(ア) 法律情報サービス講演会の実施

「成年後見と相続－元気に生きるための知恵－」

講師：亀井時子氏<弁護士>

日本司法支援センター東京地方事務所との共催で、相続を問題なく進めるための具体的な事例を弁護士が解説する講演会を実施した。

(イ) テーマ別ミニ展示の実施

講演会のテーマに関するものや、「新生活をサポートする法律知識」「マンションの法律」「技術を守る特許制度の今」「国際結婚～国境を越える家庭問題」「インターネットと法律」等、

法律に関連したテーマで資料展示を7回行った。

(ウ) その他のサービス

- ・法律情報検索ショートセミナー 「Lexis AS ONE」「法情報総合データベース (D1-Law)」「官報情報検索サービス」「新・判例秘書 DVD」
- ・レファレンス研修 テーマ別研修「法律情報」(都内区市町村立図書館職員対象)(実施状況は、p. 26 参照)

ウ 健康・医療情報サービス

(ア) 健康・医療情報サービス公開講座の実施

「地球の自転に合わせた食生活と健康づくりのコツ」

講師：蒲池桂子氏〈女子栄養大学教授〉

時間を決めて食事をする事等、「時間栄養学」の考え方に基づく具体的な方法について、専門家による公開講座を実施した。

(イ) 「健康づくりフォーラム」への出展

東京都教育委員会と児童・生徒の健康づくりの関係団体との共催により都庁第一本庁舎で開催された「平成 26 年度健康づくりフォーラム」で、講演会講師の著作のほか、感染症、学校給食等、健康づくりに関する資料展示を行った。

(ウ) テーマ別ミニ展示の実施

公開講座のテーマに関するものや、「禁煙と健康」「夏の健康管理」「健康診断 検査値とメタボの知識」「DMAT と災害医療—マニュアルに見る医療関係者の災害への対応—」等、健康・医療に関連したテーマで資料展示を8回行った。

(エ) その他のサービス

- ・健康・医療情報検索ショートセミナー 「医中誌 Web」「JDreamIII」「CiNii」等
- ・レファレンス研修 テーマ別研修「医療情報」(都内区市町村立図書館職員対象)(実施状況は、p. 26 参照)

エ 都市・東京情報サービス

(ア) 公開講座の実施

東京への関心を高め、東京関係資料に親しむ機会を提供するため、公開講座を実施している。

平成 26 年度は、東京の都市計画をテーマとし、都市計画の歴史や今後の取組の紹介を通して、東京の変遷や魅力を探る内容とした。

「東京都市計画 —現在・過去・未来—」(全2回)

講師：越澤 明 氏〈北海道大学名誉教授、一般財団法人住宅生産振興財団顧問〉

(イ) 東京都公立図書館住宅地図総合目録の更新

ホームページで公開中の「東京都公立図書館住宅地図総合目録」を、区市町村立図書館から情報提供を受けて更新した。平成 27 年3月末現在、参加自治体数は53で、4,939種の住宅地図について地域別年代別に所蔵状況を調べることができる。

(ウ) 都市・東京情報コーナーの情報発信

東京都の施策や東京の文化、行事などをテーマとして「クローズアップ都市・東京情報」を毎月ホームページで発信している。平成 26 年度は、「東京を中心とした道路ネットワーク」「東京のユニバーサルデザインとバリアフリー」「団地再生」「東京の食育を考える」等12種のテーマを取り上げた。

また、各テーマで取り上げた資料を、1階都市・東京情報コーナーのミニ展示で紹介した。

(3) デジタルコンテンツの充実及びWeb利用環境の整備

デジタル化資料の一元的な管理を進めるために開発したデジタルアーカイブの利用促進を図るとともに、既存のデジタルコンテンツの更新、「東京都公式ホームページ統一基準」への準拠に伴うWebページの更新を行った。

また、資料の電子化を促進したほか、電子書籍サービスを拡充した。

ア 「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYO アーカイブ）」の更新・充実

都立図書館の江戸・東京関係のデジタル化資料を検索・閲覧できるデータベース「TOKYO アーカイブ」の公開データを追加更新し、更なる機能の改善を図った。追加公開データは、20 点 737 画像。巻物表示 6 巻、翻刻表示 3 点 39 画像も新たに追加した。また、「国立国会図書館サーチ」との連携作業が完了し、同システムの検索結果から本アーカイブへの誘導が行われるようになった。

イ 江戸・東京デジタルコンテンツの更新

東京関係資料の中から写真、図版等を紹介する「都市・東京の記憶」（平成 22 年度公開）に、「東京の公園」のコンテンツを追加した。

また、江戸・東京の資料を通じて歴史や文化を楽しみながら学ぶ「江戸・東京デジタルミュージアム」（平成 23 年度公開）に、「大江戸マップ」のコンテンツ 20 地点分（画像と解説文）を追加した。

ウ 東京関係資料のデジタル化

東京府及び東京市の刊行物を中心に、226 点のデジタル化を行った。

エ 貴重資料のデジタル化

特別文庫室所蔵貴重資料の保存と利用を両立させるため、閲覧や複写等での利用が多い「木子文庫」の建築図面及び江戸の災害記録資料等 5,712 点のデジタル化を行った。

オ 電子書籍サービスの拡充

平成 25 年 12 月から中央図書館で試行を開始した電子書籍サービスについて、拡充を図った。提供コンテンツは 566 タイトル（平成 27 年 3 月末現在）。また、東京都が広く都民に提供している『広報東京都』『都政』など 5 タイトルを、平成 27 年 3 月から搭載開始した。

また、電子書籍サービス利用促進のため、タブレット端末の使い方や電子書籍の閲覧についてのショートセミナー（講習会）を平成 27 年 2 月から 3 月に 5 回実施し、44 名が参加した。

(4) 「東京マガジンバンク」サービスの推進

多摩図書館では、週刊誌から学術雑誌まで約 17,000 誌の雑誌を幅広く所蔵し、公立図書館としては全国初の雑誌による専門的情報サービスを実施している。

また、豊富なコレクションを紹介する企画展示のほか、雑誌に関わりのある講師・演題によるセミナーや講演会、企画展示と連動した映画会などを実施し、「東京マガジンバンク」の知名度向上やバックナンバーをはじめとする資料の利用促進を図るとともに、新たな利用機会の創出につなげた。（展示会等の実施状況は、p. 23～24 参照）

ア 資料の利用促進のための取組

（ア）企画展示の実施

日頃、閲覧の機会が少ない書庫内の雑誌を中心に、豊富なコレクションを紹介する企画展示として、「和食」「東京駅 100 周年 新幹線 50 周年」「創刊号」（前期：明治期、後期：大正期）をテーマとして 4 回実施した。

（イ）セミナー及び講演会の開催

- ・セミナー「雑誌を解剖する ―編集者と研究者それぞれの視点から―」
講師：清水一彦氏〈元編集者・江戸川大学教授〉、辻泉氏〈中央大学教授〉
- ・講演会「地図で読む新幹線 ―東海道新幹線開業 50 周年―」
講師：今尾恵介氏〈地図研究家〉

（ウ）バックヤードツアー等の開催

一般コース（5 回）の中で雑誌を紹介したほか、雑誌に特化した内容の「マガジンコース」を 3 回実施し、参加者に「創刊号コレクション」やバックナンバーの豊富さを詳細に説明した。

イ 雑誌コレクションの充実

（ア）「ニュータイトル」の広報

新たに収集を開始した雑誌及び休廃刊等により収集を中止した雑誌の情報を、利用者に印刷リストやホームページ、Twitter で広報した。

(イ) 欠号補充の実施

平成 22 年度から所蔵タイトルの欠号補充の取組を行っており、重点収集テーマである「女性誌」及び「鉄道関係雑誌」の欠号を古書店などから積極的に購入しているほか、寄贈に御協力いただいている。平成 26 年度は『とれいん』『Men's Club』『ウィズ』など 24 誌 342 冊の欠号が補充された。

(ウ) ニュータイトルの充実

新創刊雑誌のほか、既刊の雑誌で未所蔵のタイトルについてもバックナンバーを含めて積極的に収集を行った結果、所蔵タイトル数が購入・寄贈合わせ 1 年間で 251 タイトル増加した。

ウ 雑誌に関する情報の発信

利用者が多種多様な雑誌の中から利用目的に合った雑誌を選ぶ際の手助けになるように、テーマ別所蔵雑誌紹介「知っていると便利」を作成している。平成 26 年度は「鉄道」「園芸」「動物」等 8 種を新たに作成した。また、平成 25 年度までに作成した 10 種のうち 3 種について内容を更新し、合計 18 種のパンフレットを閲覧室内で配布するとともに、ホームページにも順次掲載した。

エ 「東京マガジンバンク」の広報

平成 25 年度から「東京マガジンバンクの特に注力すべきターゲット」（第 25 期東京都立図書館協議会提言）の利用促進を図る目的で、社会学、広告、マーケティング等を専攻する大学生への広報活動を行っている。平成 26 年度は 11 の大学について、大学図書館だけでなく関係する学科の教授を訪問して広報した結果、利用促進に向けたサービス展開につながる具体的な要望や意見を得ることができた。

(5) 子供読書活動推進及び学校等の教育活動支援

多摩図書館では、東京都子供読書活動推進資料等を活用し、事業の充実を図った。また、中央図書館においても東京都教育委員会の教育活動事業への支援を行った。

ア 子供読書活動推進（多摩図書館）

児童及び青少年の読書活動を推進するため、対象者別に事業を実施した。

(ア) 保護者及び子供対象

- ・「小さいひとのおはなし会『ウリボウのへや』」の開催
- ・東京都子供読書活動推進資料「子どもたちに物語の読み聞かせを」の改訂及び配布（都内の小学 1 年生の保護者）
- ・東京都子供読書活動推進資料「扉をあけてⅡ」の配布（都内の中学 1 年生）
- ・東京都子供読書活動推進資料「羅針盤Ⅱ」の配布（都内の高校 1 年生）

(イ) 区市町村立図書館職員対象

- ・「子供の読書に関する講座」（児童図書館専門研修Ⅰ）児童サービス新任職員対象
- ・「子供の読書に関する講座」（児童図書館専門研修Ⅱ）経験者対象
- ・児童・青少年サービス担当者会

また、読書への関心を高めるための次の事業を実施した。

- ・企画展示「扉をあけて 中学生へ読書のススメ」及び関連事業「ブックトーク講座」
- ・企画展示「これならできる！自由研究～111 枚のアイディアカードから選ぼう」及び関連事業「小学生自由研究講座 図書館のひみつ探検隊」

イ 学校の教育活動支援（多摩図書館）

児童・生徒及び教職員の読書活動を支援するための事業を行った。（実施状況は、p. 27～28 参照）

(ア) 教職員に対する支援

- ・東京都教職員研修センターが実施する研修への講師派遣
- ・読み聞かせ講座、ブックトーク講座、ビブリオバトル研修の実施

(イ) 児童・生徒の読書活動支援

- ・小学校での自由研究講座の実施
- ・「扉をあけてⅡ」を活用した中学校でのブックトークの実施

- ・「羅針盤Ⅱ」を活用した高等学校でのブックトーク、読み聞かせ講座等の実施
- (ウ) 特別支援学校への支援
- ・特別支援学校への出張おはなし会や選書支援、図書室整備支援等の実施

ウ 東京都教育委員会の教育活動支援（中央図書館）

次世代リーダー育成道場（注）研修生に対する事前研修として、『江戸から東京へ』に掲載した中央図書館所蔵資料の複製パネルによる講義、貴重資料の見学等を実施した。

（注）次世代リーダー育成道場

将来、様々な分野で活躍し、日本や東京の未来を担う次世代のリーダーを育成することを目的として、都立高校生を対象に語学力等を身に付けるための国内での事前研修と、1か月程度の海外短期研修、1年間の長期留学などを実施する東京都教育委員会の教育活動事業

(6) 協力支援事業の推進

ア 協力貸出の実施

東京都全体で資料の有効活用を図り、都民の資料要求に応えるため、都立図書館が所蔵する資料の協力貸出と区市町村立図書館（中心館）への協力車の運行を行っている。協力車では、協力貸出資料のほか、区市町村立図書館間の相互貸借資料を搬送している。

イ 協力支援事業の実施

（ア）区市町村立図書館職員への支援

レファレンス研修、児童図書館専門研修、製本研修、障害者サービス研修を実施するとともに、区市町村立図書館が実施する研修に都立図書館職員を講師として派遣した。

（イ）東京都公立図書館長連絡会

全体会を平成26年8月及び平成27年2月、幹事会を平成26年7月及び12月に開催し、都内公立図書館の連携・協力に関する事項について意見交換を行った。

また、「震災時における都内公立図書館相互の支援体制について」の申合せに基づき、「震災等を想定した図書館被害状況の送受信テスト」を平成26年9月に実施した。さらに、平成26・27年度の検討テーマを「都内公立図書館における子供の読書活動の一層の推進について」として検討ワーキンググループを設置し、都内公立図書館における子供の読書活動の推進に向けた取組状況の調査を行った。

（ウ）東京都図書館研究交流会

都内区市町村立図書館職員等を対象に、図書館の経営やサービスに役立つ情報の紹介及び他自治体の職員との交流の場を提供することを目的とし、講演会、新館見学会を実施した。平成26年度は、講演会を2回、新館見学会を3回実施した（実施状況は、p.26 参照）。

・第1回講演会「国立国会図書館の図書館向けデジタル化資料送信サービスについて」

講師：小坂昌氏〈国立国会図書館利用者サービス部サービス企画課〉

・第2回講演会「地域と人をつなげる図書館～新しい図書館のかたち～」

講師：猪谷千香氏〈文筆家、ハフィントン・ポスト・ジャパン記者〉

(7) 図書館サービス評価の実施

平成25年度の図書館サービスの自己評価を実施するとともに、外部評価として都立図書館協議会の意見聴取を実施し、結果をホームページで公開した。

(8) 大規模企画展等の実施

ア 大規模企画展「東京の技術とものづくり」の実施

2020年の東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催に向けた東京都の取組の一つである、「世界に誇れる産業都市の実現」に関連した大規模企画展を実施した。玉川上水等の上水道敷設に始まる水道技術、ロボットにつながるからくり人形の仕組みなど、江戸時代から現在、そして未来へと続く東京の技術力を紹介するとともに、ものづくりにおける人材育成について取り上げた。会

場には、図書館所蔵資料のほか、中小企業の技術力の結晶である「下町ボブスレー」や深海探査機「江戸っ子1号」、都立高校生による作品等を展示した。(平成26年6月20日～22日 新宿駅西口 イベントコーナー 来場者8,717名)

イ 文化財ウィーク展「江戸城本丸大広間―権力の舞台装置―」の実施

(東京都教育委員会主催「東京文化財ウィーク2014」参加事業)

「江戸城造営関係資料(甲良家伝来)」の中から、本丸大広間の建築図面や文書類を中心に約30点の国指定重要文化財を展示し、江戸城の数ある御殿の中でも最も格式のある建物である大広間の詳細とそこで行われた儀式の様子等を紹介した。関連資料として、幕府の統治を教育の面から支えた昌平坂学問所や、そこで教官として活躍し多数の人材を輩出した儒者の佐藤一斎^{いつさい}に関する資料も紹介した。また、会場入口には、大広間の立体模型を展示し、来場者が大広間の実像をよりリアルにイメージできるよう演出した。第2会場では、江戸城本丸表・中奥の大型図面(複製、11畳相当の大きさ。)を設置して、来場者がその上を歩くことができるようにし、江戸城内を体感できるように構成した。(平成26年10月25日～11月9日 企画展示室、多目的ホール 来場者企画展示室4,499名、多目的ホール1,557名)

(9) 資料の防災に関する取組の実施

暴風雨や大規模地震等の災害により、所蔵資料に被害が生じた場合の対応策をまとめた「東京都立図書館資料防災マニュアル」(平成24年度作成、平成25年度改訂)を活用して、中央図書館では自衛消防訓練の際に研修(訓練)を行い、職員への周知を図った。

中央図書館では、雨漏りについて危険な状況が続いており、危険箇所を記した「漏水マップ」を随時改訂し、点検・監視を続けた。なお、被災した際に迅速に対応できるよう、必要な資材をまとめた「被災資料救済セット」(現場対応用:中央7、多摩1、資料対応用:中央2、多摩1)や「污水吸引掃除機」(中央1)を配備し、漏水・浸水に備えた。

(10) 陸前高田市立図書館被災資料の修復・展示・返還

東京都の東日本大震災被災地支援事業の一環として、中央図書館では被災した岩手県陸前高田市立図書館所蔵の郷土資料の全面的な修復を平成25年度から行っている。

第1次受入分51点の修復が完了したことをうけ、平成27年3月の返還を前に、特別ミニ展示「大津波からよみがえった郷土の宝―陸前高田市立図書館郷土資料の修復展」を開催(平成27年2月20日～3月11日 中央図書館1階利用者玄関ホール)し、修復の様子や工程を写真やパネルで紹介した。

平成27年3月20日には陸前高田市役所で返還式が行われ、式後には返還資料51点と、中央図書館がミニ展示で作成したパネルが陸前高田市民に披露された。

平成26年8月に第2次分として受け入れた被災資料83点について、平成28年度未完了を目途に修復を続けている。

Ⅲ 予算・決算

1 平成 27 年度 予算

(千円)

項 目	予 算 額			内 容
	27年度	26年度	増△減	
管理運営等	360,221 (12,515)	203,603 (12,497)	156,618 (△18)	中央・多摩図書館の管理運営 中央・多摩図書館の建物維持管理に要する経費
サービス事業	484,616 (75,011)	441,093 (30,994)	43,523 (44,017)	館内サービス、相互協力事業、視覚障害者サービス、広報、貴重資料の電子化、都市・東京情報の発信拠点化事業、オンラインデータベース導入等のサービス充実等に要する経費
資料収集・整理	462,639 (43,778)	481,669 (61,043)	△ 19,030 (△17,265)	図書館資料の収集、整理、修理保全及び蔵書目録作成等に要する経費 〔27年度購入計画〕 1 図 書 ・一般成人用図書 28,000 冊 (東京・重点的情報サービス・行政・郷土関係資料を含む。) ・既刊書 1,116 冊 (明治以降昭和40年代までの欠本) ・洋書 3,830 冊 ・未成年者向図書(児童書) 3,500 冊 同上 (青少年) 2,450 冊 ・中国語、韓国・朝鮮語図書 2,280 冊 ・備品図書 20 冊 合計 41,196 冊 2 逐次刊行物 ・新聞 170 種 ・雑誌 4,212 種 ・年鑑・年報 1,933 種
タイムリーな企画展	16,737	20,159	△ 3,422	・大規模企画展 年1回 ・図書館内展示会 年5回 ・講演会等 年2回 ・常設企画展
電算システムの運営	120,190	105,971	14,219	都立図書館2館における電算システムの運営管理及び図書館情報ネットワークの推進に要する経費
図書館協議会	1,521 (1,131)	2,308 (1,693)	△ 787 (562)	委員数 12名 定例会 年4回
計	1,445,924 (132,435)	1,254,803 (106,227)	191,121 (26,208)	

(注) ・予算額中の()は、給与関係費で内数

2 平成 26 年度 決算

(円)

項 目	決 算 規 模	予算額	決算額
I 管理運営等		203,603,000 (12,497,000)	175,950,547 (4,423,938)
1 庁舎管理 (1) 中央図書館	(建物規模) 地上5階地下2階 延 23,196.21㎡		
2 その他の運営 (1) 中央図書館 (2) 多摩図書館			
II サービス事業		441,093,000 (30,994,000)	401,645,852 (28,411,331)
1 中央図書館 (1) 館内サービス (2) 視聴覚資料収集 (3) 相互協力事業 (4) 視覚障害者等サービス (5) 広 報	開館日数 326日 入館者数 291,408人		
2 多摩図書館 (1) 館内サービス (2) 視聴覚資料収集 (3) 相互協力事業 (4) 視覚障害者等サービス (5) 広 報	開館日数 331日 入館者数 89,750人		
III 資料収集・整理		481,669,000 (61,043,000)	460,018,996 (55,520,740)
1 図書館資料の収集 中央・多摩図書館	1 図 書 (1) 新刊和書 26,619冊 (2) 既刊書1,239冊 (3) 洋書 3,927冊 (4) 中国語・韓国・朝鮮語図書 2,338冊 (5) 電子資料 30枚 (6) 児童書(和書) 3,492冊 (7) 青少年図書(和書) 2,243冊 2 逐次刊行物 (1) 新 聞 183種 (2) 雑 誌 4,163種 (3) 年鑑・年報(和書)1,572冊 (4) 年鑑・年報(洋書)228冊		
2 図書資料の整理			
3 修理保全			
4 蔵書目録			
V タイムリーな企画展		20,159,000	18,191,014
IV 電算システムの運営		105,971,000	103,837,770
VI 図書館協議会		2,308,000 (1,693,000)	1,104,322 (782,800)
計		1,254,803,000 (106,227,000)	1,160,748,501 (89,138,809)

- (注) ・予算額・決算額中の()は、給与関係費で内数
 ・予算額は当初予算額。決算額は図書館での執行分のみ。
 ・多摩図書館は複合施設のため、施設管理費は含まれていない。

Ⅳ 統計資料（平成 27 年 3 月 31 日現在）

1 所蔵状況

(1) 図書（年鑑・年報含む）

(冊)

区 分		中央図書館	多摩図書館	合 計
日 本 語 資 料	一 般 書	1, 218, 330	257, 038	1, 475, 368
	総 記	53, 560	8, 610	62, 170
	哲 学	68, 836	8, 248	77, 084
	歴 史	160, 199	15, 052	175, 251
	社 会 科 学	338, 234	32, 444	370, 678
	自 然 科 学	117, 787	12, 029	129, 816
	工 学	134, 035	15, 023	149, 058
	産 業	93, 485	6, 441	99, 926
	芸 術	116, 986	20, 007	136, 993
	語 学	25, 546	4, 719	30, 265
	文 学	109, 662	134, 465	244, 127
	東 京 資 料	220, 268	4, 923	225, 191
	児 童 資 料	0	161, 846	161, 846
	青 少 年 図 書	0	27, 154	27, 154
海 外 資 料	洋書(特別文庫除く)	150, 386	32, 644	183, 030
	一 般 書	148, 970	13, 679	162, 649
	東 京 資 料	1, 416	17	1, 433
	児 童 資 料	0	18, 947	18, 947
	青 少 年 図 書	0	1	1
	中 国 語 図 書	65, 311	4, 068	69, 379
	一 般 書	65, 057	155	65, 212
	東 京 資 料	254	0	254
	児 童 資 料	0	3, 913	3, 913
	青 少 年 図 書	0	0	0
	韓国・朝鮮語図書	20, 210	1, 952	22, 162
	一 般 書	19, 993	50	20, 043
	東 京 資 料	217	0	217
	児 童 資 料	0	1, 902	1, 902
	青 少 年 図 書	0	0	0
	特 別 文 庫	243, 318	0	243, 318
	山 本 有 三 文 庫	0	13, 559	13, 559
	地 図	7, 817	11, 433	19, 250
	計	1, 925, 640	514, 617	2, 440, 257

(注) 特別文庫所蔵資料は、原資料のみの所蔵数。

(2) 新聞雑誌所蔵状況

区 分			中 央 図 書 館				多 摩 図 書 館				合 計
			新聞雑誌 (注1)	東京資料	特別文庫 (注2)	小 計	新聞雑誌 (注1)	児童青少年 資料	東京資料	小 計	
新 聞	日 本 語	継 続	191	228	0	419	46	7	32	85	504
		終刊・中断	229	373	45	647	83	19	0	102	749
		小計	420	601	45	1,066	129	26	32	187	1,253
	外 国 語	継 続	28	8	0	36	2	0	0	2	38
		終刊・中断	46	14	0	60	2	1	0	3	63
		小計	74	22	0	96	4	1	0	5	101
	計	494	623	45	1,162	133	27	32	192	1,354	
雑 誌	日 本 語	継 続	1,724	486	0	2,210	5,292	169	0	5,461	7,671
		終刊・中断	2,158	1,553	255	3,966	10,233	679	21	10,933	14,899
		小計	3,882	2,039	255	6,176	15,525	848	21	16,394	22,570
	外 国 語	継 続	119	2	0	121	399	16	0	415	536
		終刊・中断	126	10	329	465	1,011	64	0	1,075	1,540
		小計	245	12	329	586	1,410	80	0	1,490	2,076
	計	4,127	2,051	584	6,762	16,935	928	21	17,884	24,646	
マイクロフィルム (注3)		16 (15,264)	12 (1,530)	—	28 (16,794)	16 (10,495)	3 (13)	4 (152)	23 (10,660)	—	

(注1)タイトル数

(注2)p.14の「特別文庫所蔵数243,318冊」の内数

(注3)下段()は、リール数。この他、マイクロフィッシュ(児童和雑誌)1タイトル49枚を所蔵している。

(3) 音声・映像資料

区 分	映画フィルム		ビデオ テープ	LD・ DVD	スライド フィルム	レコード・CD ()はCDで内数	録 音 テープ	航空写真 ネガフィルム
	16mm (巻)	8mm (巻)						
中央図書館	1,914	135	6,298	1,937	264	5,657 (1,609)	1,138	113
多摩図書館	9,418	—	—	—	—	—	—	—

(4) 視覚障害者等用資料

区 分	録音資料		点字資料	点字雑誌・新聞	録音雑誌・新聞	
	録音テープ	デージー			録音テープ	デージー
中央図書館	3,590点 26,669巻	2,291点 2,310枚	629点 3,245冊	8種 3,679冊	11種 604点	9種 463枚
多摩図書館	3,175点 17,106巻	1,070点 1,070枚	401点 1,658冊	10種 372冊	19種 4,418点	7種 361点

(5) 特別文庫資料の自館製作複製資料（電子化に伴う複製物含む）

特別文庫室では、所蔵貴重資料（原資料）の保存と、調査研究のための利用とを両立するため、資料のメディア変換（電子化）に取り組んでいる。原資料1点から、複数媒体の複製資料が作られるため、図書の所蔵統計とは別枠で累積数値を記載する。

区 分	紙焼き	マイクロフィルム	複製写真	スチールフィルム	DVD-R(CD-R含む)
中央図書館	50,467点	9,206巻	6,444枚	26,343枚	1,787枚

2 オンラインデータベースの設置状況

区 分	オンラインデータベース 設置数
無料	32種類
有料	1種類

新聞・雑誌記事、事典類、ビジネス情報、法律情報及び健康・医療情報について、無料で利用できるオンラインデータベース等を中央・多摩の両館で設置している。

3 図書館資料収集・整理統計

都立図書館所蔵資料の収集、整理及び館内製本は、中央図書館及び多摩図書館の資料を一括して中央図書館で行っている。

(1) 図書資料受入状況

ア 新収資料 (冊)

区 分	情報サービス資料
購 入	41,688 (6,493)
受 贈	9,764 (595)
そ の 他 (自館製作目録、加除式資料等)	75 (0)
計	51,527 (7,088)

(注)年鑑年報を含む。()内は外国語資料で内数。

イ 複製資料

特別文庫室では、所蔵貴重資料（原資料）の保存と、調査研究のための利用とを両立するため、資料のメディア変換（電子化）に取り組んでいる。原資料1点から、複数媒体の複製資料が作られるため、図書の受入統計とは別枠で受入数値を記載する。

(点)

特別文庫資料の 自館製作複製	16,182
-------------------	--------

(2) 逐次刊行物受入状況

区 分	年鑑年報	新 聞		雑 誌	
		中 央	多 摩	中 央	多 摩
購 入	1,800 冊 (228)	145 種 (25)	38 種 (1)	1,036 種 (102)	3,127 種 (349)
受 贈	3,785 (53)	269 (11)	47 (1)	1,468 (24)	3,041 (83)
計	5,585 (281)	414 (36)	85 (2)	2,504 (126)	6,168 (432)

(注) ()内は外国語資料で内数

(3) 整理状況 (冊)

資料種別	和図書	海外資料	年鑑年報	計
整理冊数	39,174	6,584	6,181	51,939

(4) 製本状況 (冊)

館内製本	館外製本	重要文化財 修 復	計
2,978	1,964	0	4,942

4 利用統計資料（平成 26 年度実績）

(1) 利用状況

ア 入館者数

区 分	中央図書館			多摩図書館			計
	開館 日数	月 別 入館者数	1 日 平 均	開館 日数	月 別 入館者数	1 日 平 均	
平成26年 4月	28	25,370	906	28	6,694	239	32,064
5月	29	27,854	960	29	7,351	253	35,205
6月	19	17,678	930	28	7,836	280	25,514
7月	29	27,641	953	30	9,500	317	37,141
8月	29	27,830	960	29	9,618	332	37,448
9月	28	24,603	879	29	8,144	281	32,747
10月	29	24,259	837	29	8,070	278	32,329
11月	28	24,453	873	20	5,951	298	30,404
12月	26	21,810	839	26	6,329	243	28,139
平成27年 1月	26	23,065	887	27	7,027	260	30,092
2月	26	23,922	920	26	6,532	251	30,454
3月	29	22,923	790	30	6,698	223	29,621
計	326	291,408	894	331	89,750	271	381,158

イ 複写枚数

区 分	中央図書館			多摩図書館			計
	開館 日数	月 別 複写枚数	1 日 平 均	開館 日数	月 別 複写枚数	1 日 平 均	
平成26年 4月	28	108,211	3,865	28	9,917	354	118,128
5月	29	129,684	4,472	29	9,979	344	139,663
6月	19	93,382	4,915	28	9,214	329	102,596
7月	29	130,897	4,514	30	14,547	485	145,444
8月	29	144,869	4,995	29	15,696	541	160,565
9月	28	133,237	4,758	29	12,224	422	145,461
10月	29	118,456	4,085	29	13,763	475	132,219
11月	28	121,093	4,325	20	10,564	528	131,657
12月	26	123,234	4,740	26	13,603	523	136,837
平成27年 1月	26	116,546	4,483	27	9,161	339	125,707
2月	26	110,752	4,260	26	10,408	400	121,160
3月	29	121,957	4,205	30	11,193	373	133,150
計	326	1,452,318	4,455	331	140,269	424	1,592,587

ウ 蔵書検索数

蔵書検索は、都立図書館の所蔵資料のみを検索し、統合検索は、都内公立図書館や国会図書館等の所蔵資料も検索できる。

区 分	蔵書検索数	統合検索 利用件数
平成26年 4月	406,646	244,497
5月	435,652	260,610
6月	397,926	241,223
7月	424,993	251,185
8月	404,347	250,540
9月	391,934	244,915

区 分	蔵書検索数	統合検索 利用件数
平成26年 10月	413,693	259,640
11月	380,605	236,193
12月	372,377	221,164
平成27年 1月	505,730	235,423
2月	1,149,398	230,100
3月	706,518	240,103
計	5,989,819	2,915,593

(2) 登録利用者数

利用者登録により、ネット予約（資料の取置き）、Eメールレファレンス及び新着情報配信サービス等を利用することができる。

区 分	各月末現在の登録利用者数
平成26年 4月	2,880
5月	3,066
6月	3,215
7月	3,404
8月	3,573
9月	3,713

区 分	各月末現在の登録利用者数
平成26年 10月	3,858
11月	4,014
12月	4,149
平成27年 1月	4,303
2月	4,446
3月	4,563

(3) レファレンス件数

レファレンスサービスは、利用者からの相談や質問に図書館の資料や情報源を用いて回答することである。都立図書館では、カウンターや電話などで様々な質問に答えるとともに、広く参考としてもらえる事例を当館ホームページや国立国会図書館が全国の図書館等と協同で構築しているレファレンス協同データベースで紹介している。

【掲載質問例】 回答は当館ホームページに掲載。

- ・1928（昭和3）年の化粧石鹼の輸出量と輸出額を、輸出先の国別に知りたい。
- ・女性誌の発行部数について、タイトルごとに推移がわかる資料はないか。
- ・昭和20年代に東京に移り住むことを制限するような法律があったと聞いた。何という法律か知りたい。また、その法律が解除されたのはいつか。
- ・江戸時代、江戸で見られたおにぎり（にぎりめし）の形を知りたい。

ア 質問形態内訳

〔都立図書館計〕

区 分	中央図書館		多摩図書館		計
	総 数	1日平均	総 数	1日平均	
口 頭	38,378	118	5,633	17	44,011
電 話	20,015	61	2,575	8	22,590
ファクシミリ	201	1	6	0	207
文 書	1,345	4	195	1	1,540
Eメール	2,371	7	323	1	2,694
計	62,310	191	8,732	26	71,042

（注1）1日平均の計は、総数の計を年間開館日数で除した値であるため、各項目の1日平均の合計とは一致しない。

〔中央図書館〕

区 分	情報サービス課 4	音声・映像 資料室	特別文庫室	視覚障害者 サービス係	計	開館日数	1日平均
口 頭	36,078	60	1,652	588	38,378	326	118
電 話	15,916	0	1,727	2,372	20,015	326	61
ファクシミリ	98	0	2	101	201	326	1
文 書	827	0	215	303	1,345	326	4
Eメール	2,152	0	70	149	2,371	326	7
計	55,071	60	3,666	3,513	62,310	326	191

（注1）1日平均の計は、総数の計を年間開館日数で除した値であるため、各項目の1日平均の合計とは一致しない。

（注2）中央図書館では、上記の他に案内スタッフによる簡易な応対が12,886件ある。

〔多摩図書館〕

区 分	情 報 サービス係	児童青少年 資 料 係	視覚障害者 サービス担当	計	開館日数	1日平均
口 頭	4,904	529	200	5,633	331	17
電 話	2,207	183	185	2,575	331	8
ファクシミリ	6	0	—	6	331	0
文 書	195	0	—	195	331	1
Eメール	170	70	83	323	331	1
計	7,482	782	468	8,732	331	26

（注1）1日平均の計は、総数の計を年間開館日数で除した値であるため、各項目の1日平均の合計とは一致しない。

イ 協力レファレンス件数

都内の区市町村立図書館等が利用者から受けた質問に対し自館の資料等では十分な回答が得られない場合に、都立図書館が区市町村立図書館等の求めに応じて調査及び回答を行っている。

区 分		ファクシミリ	Eメール	計
都内公立図書館	区立図書館	14	202	216
	多摩地区市町村立図書館	60	214	274
	島しょ図書館	0	1	1
	小 計	74	417	491
その他		26	0	26
計		100	417	517

(注)その他は、他道府県図書館及び大学図書館

ウ 聴覚・言語障害レファレンス件数

区 分	中央図書館
ファクシミリ・Eメール	0

(4) 書庫内図書利用冊数

中央図書館		多 摩 図 書 館				
266,823	818	図 書		雑 誌		計
		うち、児童図書		うち、児童雑誌		
(注) 下段は1日平均		17,004	3,746	134,192	18,019	151,196
		50	11	398	53	449

(注) 下段は1日平均

(注) 下段は1日平均

(5) 情報リテラシー支援件数

パソコンによる資料の検索やオンラインデータベースの利用の際に、システム機器の操作方法に関する支援を行っている。

中 央 図 書 館					多摩図書館
情報サービス課4係	音声・映像資料室	特別文庫室	視覚障害者サービス室	計	
3,111	0	302	74	3,487	
					363

(注)中央図書館では、上記の他に案内スタッフによる情報リテラシー支援件数が11,586件ある。

(6) 政策立案支援サービス件数

東京都職員が政策立案を行う際、求めに応じて必要な資料・情報の提供を行っている。

	中央図書館	多摩図書館	計
レファレンス件数	2,106	144	2,250
都庁内貸出冊数	780	39	819
複 写 枚 数	7,290	722	8,012

(7) 特別文庫室利用状況

中央図書館特別文庫室では、江戸時代後期から明治時代中期の資料を中心に所蔵し提供している。
資料の提供方法は、資料の閲覧、複写（即日複写のほか、利用者による撮影や所蔵しているネガの貸出を含む。）及び資料貸出である。

ア 資料提供

開室 日数	閲覧者数 (名)		閲覧数 (冊)		複 写 関 係						資料貸出		合計資料冊数	
	人数	1日平均	冊数	1日平均	撮 影		即日複写		ネガ貸		件数	冊数	冊数	1日平均
					件数	冊数	件数	冊数	件数	冊数				
326	1,155	4	9,664	30	115	326	311	1,218	711	1,643	7	14	12,865	39

イ 復刻・翻刻

件	冊
17	34

(8) 音声・映像資料室利用状況

中央図書館音声・映像資料室では、歴史・伝統技術や東京に関する記録資料を中心とした、ビデオ、レーザーディスク、CD及びDVD等を所蔵しており、室内で視聴できる。

開室日数	利用者数	利用点数
326	1,901	3,407

(9) 視覚障害者等サービス状況

登録制で、資料の対面音訳並びに、テープ・デージー資料及び点訳資料の作成及び貸出を行っている。

区 分	登録者		対面音訳			テープ・デージー資料					点訳資料			
	利用者	音訳者	利用 人数	音訳 者数	音訳 時間	受付数	テープ資料		デージー資料		受付数	作成数 (冊)	貸出数	
							作成数 (巻)	貸出数 (巻)	作成数 (枚)	貸出数 (枚)			点字 (冊)	F D (枚)
中央図書館	282	90	428	647	1,592	35	0	715 (1,436)	23 (23)	5,085 (5,103)	3	4 (22)	141 (229)	84 (84)
多摩図書館	111	20	193	304	881	11	0	20 (69)	103 (103)	1,563 (1,565)	2	1 (6)	2 (4)	2 (2)

(注1) デイジーとは、Digital Accessible Information System(デジタル録音図書)の略。

(注2) 貸出数の中には、借受け貸出し分も含む。

(注3) 作成数の中には雑誌・新聞(テープ、デージー及び点訳)は含まない。

(注4) 上段はタイトル数、下段は資料の巻(冊)数を表す。

(10) 協力貸出状況

ア 都内公立図書館への貸出

区市町村立図書館が所蔵していない資料に対し利用者から要望があった場合、東京都全体で資料の有効活用を図り都民の資料要求に応えるため、都立図書館の資料を区市町村立図書館に貸出している。

区 分	図書貸出冊数	雑誌貸出冊数	合 計
区 立 図 書 館	10,351	2,366	12,717
多摩地区市町村立図書館	65,603	5,853	71,456
島 しょ 図 書 館	1,247	6	1,253
計	77,201	8,225	85,426

イ 都外公立図書館との相互貸借

所蔵していない資料に対し利用者から要望があった場合、都外公立図書館との間で相互に資料の貸借を行っている。

区 分	都外貸出		都外借受	
	件数	冊数	件数	冊数
中央図書館	80	114	15	26
多摩図書館	24	29	60	99
計	104	143	75	125

(11) 多摩図書館 16 ミリフィルム等の貸出数

多摩図書館では、16 ミリ映画フィルム及び映写機を、登録している団体及び島しょ地域に貸出している。

区 分			登 録 数	貸 出		備 考
			件 数	点 数		
16 ミ リ 映 画 フ ィ ル ム	団 体		88	400	1,062 本	
	特 別 団 体		18			
	う ち 、 島 し ょ 長 期 貸 出	大 島	—	12	120 本	
		三 宅		0	0 本	
		八 丈		0	0 本	
		小 笠 原		12	65 本	
		小 計		—	24	
映 写 機 貸 出		—	126	127 台		

(12) ホームページ利用状況

区 分	トップページ アクセス数
平成26年 4月	90,398
5月	99,385
6月	94,129
7月	97,052
8月	96,226
9月	87,271
10月	94,872
11月	87,234
12月	81,820
平成27年 1月	89,125
2月	83,703
3月	83,760
計	1,084,975

V 事業実績（平成26年度）

1 展示等の事業（企画展示・講演会・映画会等）

都立図書館の豊富な所蔵資料の魅力をPRするとともに資料の利用を促進するため、企画展示、講演会及び映画会等を実施した。

(1) 展示

展 示 内 容 等		期 間	会 場	来場者数
◆東京文化財ウィーク2014 「江戸城本丸大広間 ―権力の舞台装置―」		10月25日～11月9日	中央図書館 企画展示室・多目的ホール	6,056 名
◆東京都立図書館特別展示「東京の技術とものづくり」		6月20日～6月22日	新宿駅西口広場	8,717 名
中央図書館 企画展示	「特別文庫室所蔵資料(複製)でみる歌舞伎」(パネル展示)	3月15日～4月13日	中央図書館 企画展示室 (閲覧室とは異なる展示専用 の独立した展示室で実施)	2,476 名
	「進化する東京 ―観光都市・東京の魅力―」	4月19日～6月1日		5,176 名
	「発明・技術 ―夢をかたちにする力―」	7月4日～9月3日		6,353 名
	「江戸の華 ―天下祭と御城下の年中行事―」(パネル展示)	9月12日～10月16日		3,149 名
	「図書館から広がる世界 ―所蔵資料でめぐる世界と日本の文化―」	11月22日～1月18日		7,121 名
	「東京の都市計画 ―魅力ある世界都市を目指して―」	1月24日～3月22日		7,561 名
人文科学系ミニ展示	「夏目漱石と『こころ』」	4月4日～6月2日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室*	
	「花鳥画でめぐる初夏の花々」	6月13日～8月6日		
	「伝統のガラス工芸 ―涼をもとめて―」	8月8日～9月3日		
	「月を愛でる」	9月5日～10月1日		
	「街道を旅する」	10月3日～11月5日		
	「紅葉三昧」	11月7日～12月3日		
	「限取」	12月5日～1月7日		
	「応援しよう！マラソン大会」	1月9日～2月4日		
	「雛人形」	2月6日～3月4日		
	「花見日和」	3月6日～5月6日		
美術情報コーナー 棚展示	「マルク・シャガールの版画」	4月4日～4月30日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室 (美術情報コーナー)*	
	「茶道美術」	5月2日～6月2日		
	「こどもを通して見る世界」	6月13日～8月6日		
	「妖怪大集合」	8月8日～9月3日		
	「だまし絵を読む」	9月5日～10月1日		
	「菱田春草」	10月3日～11月5日		
	「ジャン＝フランソワ・ミレー」	11月7日～12月3日		
	「東山魁夷」	12月5日～1月7日		
	「岡本太郎」	1月9日～2月4日		
	「大江戸の人気者」	2月6日～3月4日		
	「2014年展覧会カタログ」	3月6日～5月6日		
都市・東京情報コーナーミニ展示	「今、豊洲に注目！」	4月3日～4月30日	中央図書館 都市・東京情報コーナー*	
	「東京を中心とした道路ネットワーク」	5月1日～6月2日		
	「東京のユニバーサルデザインとバリアフリー」	6月13日～7月2日		
	「東京の水辺とまちづくり」	7月3日～8月6日		
	「東京の山 高尾山」	8月7日～9月3日		
	「東京における女性・若者・シニアの雇用」	9月4日～10月1日		
	「東京の路面電車」	10月2日～11月5日		
	「団地再生」	11月6日～12月3日		
	「東京都の自然環境保全」	12月4日～1月7日		
	「東京の食育を考える」	1月8日～2月4日		
	「東京オリンピック・パラリンピック」	2月5日～3月4日		
	「多摩川」	3月5日～4月1日		

展 示 内 容 等		期 間	会 場	来場者数
ビジネス情報ミニ展示	「これからの成長産業 医療&介護ビジネス」	3月7日～5月7日	中央図書館 ビジネス情報コーナー＊	
	「経営者が語る成功のコツ」	5月8日～7月2日		
	「日本の産業を支える中小企業」	7月4日～9月2日		
	「知っておきたい！就活のヒント」	9月5日～11月5日		
	「日本の企業・産業のこれから」	11月7日～1月6日		
	「観光ビジネス ―日本の文化・魅力の発信―」	1月9日～3月4日		
	「新社会人のためのお役立ちビジネスツール」	3月6日～5月6日	中央図書館 社会・自然科学系資料・閲覧室＊	
	「環境・グリーンビジネス」	9月4日～12月3日		
	「関満博氏 著作展示」	11月7日～11月28日		
	「鉄道とビジネス」	12月5日～4月8日		
	「トマ・ピケティと『21世紀の資本』」	2月12日～3月18日		
	法律情報ミニ展示	「新生活をサポートする法律知識」		
「マンションの法律」		5月3日～7月3日		
「技術を守る特許制度の今」		7月5日～9月4日		
「成年後見を考える」		9月6日～11月6日		
「国際結婚 ―国境を越える家族問題」		11月8日～1月8日		
「女性がいいきいと働くために」		1月10日～3月5日		
「インターネットと法律」		3月7日～5月6日		
健康・医療情報ミニ展示	「生活習慣病 ―規則正しく、健康に―」	3月7日～5月7日	中央図書館 健康・医療情報コーナー＊	
	「看護の日 ―看護のこころをつなぐ―」	5月8日～6月2日		
	「禁煙と健康」	6月13日～7月2日		
	「夏の健康管理 ―夏バテ、熱中症予防ほか―」	7月4日～9月3日		
	「健康診断 検査値とメタボの知識」	9月5日～11月5日		
	「食生活と健康づくりのコツ」	11月7日～1月7日		
	「血圧と健康 ―生活習慣改善で健康に―」	1月9日～3月4日		
	「DMATと災害医療 ―マニュアルに見る医療関係者の災害への対応―」	3月6日～5月6日		
新聞・雑誌ミニ展示	「華麗なる宝塚歌劇団の世界」	4月4日～4月30日	中央図書館 新聞閲覧コーナー＊	
	「科学雑誌 ―『Nature』・『Science』―」	5月2日～6月2日		
	「大正期のミリオネラー ―『キング』―」	6月13日～8月6日		
	「明治に輝く総合雑誌 ―『太陽』―」	8月8日～9月3日		
	「浪漫の香り ―詩歌雑誌『明星』―」	9月5日～11月5日		
	「週刊誌の魁 ―『週刊朝日』と『サンデー毎日』」	11月7日～1月7日		
	「迎春 ―明治の暮らし『風俗画報』―」	1月9日～2月4日		
	「『新青年』で楽しむ探偵小説の世界」	2月6日～4月1日		
資料保全ミニ展示	「大津波からよみがえった郷土の宝 ―陸前高田市立図書館郷土資料の修復展―」	2月20日～3月11日	中央図書館玄関ホール＊	
トピック展示	「高校生の皆さん、読書と書評合戦を応援します！」	5月8日～6月25日	中央図書館中央ホール等＊	
	「あの人も出たインターハイ」	7月4日～8月31日	中央図書館 中央ホール＊	
	「栄光の祭典 ―1964年東京オリンピック・パラリンピック50周年記念―」	10月3日～11月5日	中央図書館 健康・医療情報コーナー＊	
	「デング熱から身を守るために ―蚊について知る―」	9月5日～10月1日	中央図書館 社会・自然科学系資料・閲覧室＊	
	「火山について知る」	10月3日～11月5日	中央図書館 人文科学系資料・閲覧室（入口）＊	
	「祝・ノーベル物理学賞受賞」	10月8日～12月3日		
	「和紙 ユネスコの無形文化遺産に登録」	11月28日～2月4日		
	「第152回芥川賞・直木賞決定 二人の作品を読んでみよう！」	1月21日～2月15日		
東京マガジンバンク 企画展示	「今！男性誌がおもしろい ―ファッション誌・ライフスタイル誌の魅力―」	3月7日～4月30日	多摩図書館展示エリア （閲覧室と同一フロアでスペースを区切って実施）	6,666 名
	「ユネスコ無形文化財『和食』の世界 ―雑誌が伝える食文化の伝統―」	9月5日～11月3日		5,539 名
	「雑誌に見る東京駅100周年新幹線50周年」	11月14日～1月7日		4,752 名
	「創刊号に見る明治・大正の時代 ―文芸誌を中心に―（明治期）」	1月9日～3月4日		4,361 名
	「創刊号に見る明治・大正の時代 ―文芸誌を中心に―（大正期）」	3月6日～5月6日		5,214 名

展 示 内 容 等		期 間	会 場	来場者数
児童青少年 サービス 企画展示	「扉をあけて 中学生へ読書のススメ」	5月2日～7月2日	多摩図書館展示エリア (閲覧室と同一フロアでスペースを区切って実施)	6,349 名
	「これならできる！自由研究 -111枚のアイディアカードから選ぼう-」	7月4日～9月3日		6,718 名
東京マガジンバンクミニ展示	『東京マガジンバンク』5周年	4月4日～6月4日	多摩図書館雑誌エリア＊	
	「ワールドカップ」	5月14日～7月2日		
	「煌めく青春 南関東総体2014」	7月4日～8月31日		
	「雑誌が伝える1964年東京オリンピック、パラリンピック」	10月1日～11月3日		
	「ノーベル物理学賞」	10月9日～11月3日		
	「追悼 高倉健」	11月21日～12月3日		
	「はやぶさ 2」	12月5日～12月19日		
	「第152回芥川賞・直木賞」	1月16日～1月31日		
	「祝北陸新幹線」	3月12日～3月31日		
児童サ ービスミニ展示	『花子とアン』 村岡花子	5月23日～11月3日	多摩図書館児童エリア＊	
	「外国の絵本」	9月5日～(展示中)		
	「お正月あそび -カルタ・こま-」	1月4日～1月15日		
	「追悼 松谷みよ子」	3月10日～3月20日		
	「えほんかるた」	通年		
	「ほん・本・ごほん」	通年		
青 少 年 サ ー ビ ス ミ ニ 展 示	「羅針盤Ⅱ」	通年	多摩図書館青少年エリア＊	
	「扉をあけてⅡ」	通年		
	「学習応援棚」	通年		
	「錦織圭」	9月10日～10月1日		
	「スコットランド」	10月2日～10月16日		
	「ノーベル賞」	10月17日～11月3日		
	「winter sports」	11月14日～12月28日		
	「はつはる」	1月4日～1月13日		
	「紙」	1月14日～4月1日		
スポッ ト 展 示	「TAMA selection」	4月3日～(展示中)	多摩図書館青少年エリア＊	
	「英語多読棚」	11月14日～(展示中)		
キャリア デザイン コーナ ーミニ展示	「国際協力」	11月14日～1月13日		
	「職人」	1月14日～4月1日		

＊の会場は、閲覧室等の一部で展示を行なっているため、来場者数の計測をしていない。

(2) 講演会等

区 分	講 演 会 名 等	日 程	会 場	参加者数
ビジネス情報サービス講演会	「成熟した東京の新産業化 ―ハイテク化と新たな生活様式に対応―	12月1日	中央図書館	63 名
ビジネス情報サービス就職活動セミナー	「自分にピッタリの企業を探そう！ ―図書館の情報資料を使いこなす“コツ”を伝授します。―	8月23日		66 名
ビジネス情報サービス相談会	「ビジネス 起業・創業相談会」	7月26日、9月27日、10月25日、11月22日		30 名
法律情報サービス講演会	「成年後見と相続 ―元気に生きるための知恵―	10月11日		98 名
健康・医療情報サービス講演会	「地球の自転に合わせた食生活と健康づくりのコツ」	11月30日		79 名
都市・東京情報サービス連続公開講座	「東京都市計画 ―現在・過去・未来―	2月7日、2月14日		101 名
東京マガジバンク講演会	雑誌を解剖する ―編集者と研究者それぞれの視点から―	6月28日	多摩図書館	91 名
	地図で読む新幹線 ―東海道新幹線開業50周年―	12月7日		145 名
子供読書活動推進事業	小さいひとのおはなし会 「ウリボウのへや」	4月～3月 (全22回)	多摩図書館	延465 名
	ブックトーク講座	5月29日、6月10日		40 名
	小学生自由研究講座	7月31日		35 名
	多摩図書館公開講座・東京都子供読書フォーラム「本のたのしみをわかちあう」	11月29日		730 名
図書館見学ツアー	図書館見学ツアー(通常ツアー5回 テーマ別ツアー3回)	7月～2月	中央図書館	107 名
	バックヤードツアー (一般コース5回、団体コース11回、ショートショートコース2回、マガジンコース3回、映画コース5回、児童コース9回、視覚障害者コース2回)	4月～3月 (全37回)	多摩図書館	627 名
オンラインデータベース検索講習会 (オンラインデータベースや CD-ROM の情報検索方法の説明)	ビジネス情報検索ショートセミナー	4月～3月 (10回)	中央図書館	28 名
	法律情報検索ショートセミナー	4月～3月 (7回)		9 名
	健康・医療情報検索ショートセミナー	4月～3月 (6回)		23 名
	検索ショートセミナー (東京情報・美術情報・電子ジャーナル・人物情報等)	4月～3月 (13回)		36 名
	新聞記事検索ショートセミナー	4月～3月 (12回)		22 名
	雑誌記事検索ショートセミナー	4月～3月 (8回)		16 名
	新聞記事検索ショートセミナー	5月～3月 (5回)	多摩図書館	28 名
	雑誌記事検索ショートセミナー	5月～3月 (6回)		29 名
電子書籍サービス講習会	電子書籍サービスショートセミナー	2月～3月 (5回)	中央図書館	44 名

(3) 映画会（多摩図書館）

区 分	内 容	日 程	開催回数	参加者数
東京マガジバンク講演会連動特別映画会	観る聴く感じる日本の食文化	10月12日	1 回	64 名
定例映画会	上半期は「日本の自然」(13回)、下半期は「東京の歴史と文化」(9回)というテーマを設定し、所蔵16ミリ映画フィルム（主として記録映画）から選択して上映 「日本の自然」では、さらに小テーマとして“花・桜”、“鳥”、“チョウ[蝶]”、“川”、“山”を設定 この他に劇映画「二十四の瞳」「文無し横丁の人々」をそれぞれ上映	4月～3月	24 回	784 名
ミニシアター	再上映の要望が高いが、褪色が進み大画面での鑑賞に堪えないカラー作品、上映時間が短く他のフィルムと組合せにくい作品などを小規模会場で上映。定員が少人数のため、同一内容で2回ずつ開催	4月～3月	12 回	222 名
特別映画会	夏休み子ども映画会 手塚治虫没後25年 なつかしの手塚治虫(4本立)を開催	8月24日	1 回	15 名
	追悼 高倉健 俳優・高倉健の追悼企画として「鉄道員(ぽっぽや)」を2日連続で上映	1月23、24日	2 回	109 名

2 区市町村立図書館職員等への研修等

(1) 区市町村立図書館職員等への専門的研修及び講師派遣

ア 目的

区市町村立図書館職員を対象として専門的な研修を実施することにより、都内の図書館サービスの全体的な向上に寄与することを目的とする。

イ 実施形態

- ・情報サービス研修（情報サービスに関する知識・技能の向上を図る。）
- ・障害者サービス研修（通常の方法での読書が困難な利用者へのサービス提供方法の向上を図る。）
- ・製本研修（資料の基礎的な修復をとおして、資料保全に関する知識・技術の向上を図る。）
- ・講師派遣（区市町村立図書館からの依頼を受け、都立図書館職員を研修講師として派遣する。）
- ・その他（各業務及び図書館運営に必要な情報の提供並びに他自治体の職員との交流の場を提供する。）

区分	研修・見学会・担当者会名			会 場	回数	修了者数		
情報サービス研修	レファレンス研修	テーマ別研修「美術情報」		中央図書館	1 回	30 名		
		テーマ別研修「東京情報」			1 回	38 名		
		テーマ別研修「法律情報」			1 回	25 名		
		テーマ別研修「医療情報」			1 回	26 名		
		テーマ別研修「新聞雑誌情報」			1 回	41 名		
	児童図書館専門研修	Ⅰ「子供の読書に関する講座Ⅰ」（全3日間）		多摩図書館	1 回	125 名		
		Ⅱ「子供の読書に関する講座Ⅱ」			1 回	53 名		
障害者サービス研修	音訳者講習会	初級研修（全6日間）		多摩図書館	1 回	23 名		
		中級研修（全6日間）		中央図書館	1 回	24 名		
		専門研修			1 回	116 名		
	障害者サービス研修			中央図書館	1 回	65 名		
研修本	製本研修			中央図書館	2 回	42 名		
講師派遣	図書館資料修復の方法（5月21日）			三鷹市立三鷹図書館（2名派遣）	1 回	21 名		
	読み聞かせボランティア養成講座（6月1日）			八丈町大賀郷公民館（1名派遣）	1 回	20 名		
	図書の補修・修理（12月26日）			豊島区立中央図書館（1名派遣）	1 回	27 名		
その他（担当者会等）	東京都公立図書館地域資料担当者会			中央図書館	2 回	112 名		
	都・区市町村立図書館協力レファレンス担当者会				3 回	144 名		
	障害者サービス事務担当者連絡会			中央図書館	1 回	65 名		
	児童・青少年サービス担当者会（合同開催）			多摩図書館	1 回	96 名		
	東京都図書館研究交流会	新館見学会	第1回（10月9日）		世田谷区立代田図書館	1 回	20 名	
			第2回（10月22日）		小金井市立図書館貫井北分室	1 回	22 名	
			第3回（12月10日）		港区立麻布図書館	1 回	22 名	
		講演会	第1回（7月1日）		中央図書館	1 回	67 名	
			第2回（1月28日）			1 回	100 名	
	東京都公立図書館長連絡会	全体会	第1回（8月6日）			1 回	41 名	
			第2回（2月6日）			1 回	26 名	
	協力事務担当者会	第1回（5月21日、28日）		中央図書館、多摩図書館		2 回	95 名	
		第2回（11月19日）		中央図書館		1 回	59 名	

(2) 関係機関等への講師派遣

区分	研 修 名	主 催 者	派遣者数	回数	修了者数
講師派遣	大阪府図書館司書セミナー（11月28日）	大阪府教育委員会	1名	1回	46名
	平成26年度北日本図書館連盟研究協議会「読書で育む生きる力」事例発表「ブックリストを活用して区市町村立図書館支援」（9月26日）	北日本図書館連盟 岩手県教育委員会 岩手県図書館協会	1名	1回	95名
	児童図書館員養成専門講座（10月3日）	日本図書館協会	1名	1回	16名
	平成26年度東海・北陸地区図書館地区別研修講義「障害のある子どもへのサービス」（12月10日）	文部科学省 石川県教育委員会	1名	1回	45名

3 学校教育活動への支援事業

(1) 目的

「第二次東京都子供読書活動推進計画」（平成 21 年 3 月東京都教育委員会策定）等に基づく諸事業をはじめ、児童・生徒の学習活動及び教職員の授業研究や学校図書館運営等に対する支援を実施する。

(2) 事業

ア 学校レファレンス支援サービス

来館、電話、Eメール及びファクシミリ等による問合せに対し、回答を行った。

(ア) レファレンス件数 64 件

(授業用参考資料並びに修学旅行及び移動教室の事前学習用資料の紹介等)

(イ) 子供の読書に関する相談 112 件

(子供読書活動推進資料の活用法、資料の加工使用の許諾及び著作権並びに研修講師の情報等)

イ 職業インタビューの受入れ

学校からの申込みを受け、2 校 6 名の生徒を対象として、司書の仕事の説明及び館内見学を行った。

受入校(学年)	実施場所	日 程	日数	参加者数
田園調布双葉中学校(2年)	中央図書館	8月5日	0.5 日間	1 名
島根県立三刀屋高等学校(2年)	多摩図書館	10月15日	1 日間	5 名

ウ 職業体験・インターンシップ等の受入れ

学校からの申込みを受け、13 校 37 名の生徒が職員の指導により、受付、資料の出納、整架及び本の紹介などの図書館の基本的な仕事を体験した。

受入校(学年)	実施場所	日 程	日数	参加者数
品川区立品川学園(2年)	中央図書館	5月8日～5月9日	2 日間	4 名
神津島村立神津中学校(2年)		5月13日～5月15日	3 日間	2 名
都立永福学園(高等部1年)		7月1日～7月3日	3 日間	1 名
都立桜修館中等教育学校(2年)		8月20日～8月21日	2 日間	4 名
星美学園中学校(2年)		12月16日～12月18日	3 日間	4 名
大島町立第二中学校(2年)	多摩図書館	1月30日	1 日間	3 名
都立志村学園(高等部1・2年)		5月28日	1 日間	2 名
立川市立第三中学校(2年)		7月8日～7月10日	3 日間	3 名
穎明館中学高等学校(中学校3年)		7月28日～7月29日	2 日間	1 名
八王子市立いずみの森小中学校(中学校2年)		9月17日～9月19日	3 日間	3 名
都立立川国際中等教育学校(2年)		10月8日～10月10日	3 日間	3 名
都立永福学園(高等部1年)		11月18日～11月20日	3 日間	1 名
小金井市立緑中学校(1年)		1月21日～1月23日	3 日間	3 名
小金井市立南中学校(2年)		1月28日～1月30日	3 日間	3 名

エ 特別支援学校等との連携（出張おはなし会の実施、選書支援等）（多摩図書館）

実施校(注)	連携・支援内容	日程	回数	参加者数
(視) 都立久我山青光学園	出張おはなし会 資料貸出	5月21日,7月22日,9月8日,10月16日,2月3日,3月3日	6 回	57 名
(聴) 都立大塚ろう学校	出張おはなし会	10月27日	1 回	87 名
都立葛飾ろう学校	図書室整備支援	9月17日	1 回	- 名
都立立川ろう学校	選書支援 資料貸出	9月, 10月, 1月	3 回	- 名
(知) 都立調布特別支援学校	出張おはなし会 資料貸出	9月26日	1 回	25 名
都立中野特別支援学校	出張おはなし会	12月15日	1 回	140 名
都立七生特別支援学校	出張おはなし会 資料貸出	1月19日	1 回	229 名
都立永福学園	出張おはなし会	1月27日	1 回	64 名
都立八王子東特別支援学校	出張おはなし会	2月12日	1 回	40 名
都立品川特別支援学校	出張おはなし会	2月20日, 2月25日	1 回	71 名
都立八王子特別支援学校	出張おはなし会 資料貸出	10月7日	1 回	59 名
都立白鷺特別支援学校	出張おはなし会	11月17日	1 回	6 名
都立青峰学園	出張おはなし会 ブックトーク	5月27日	1 回	18 名
都立田園調布特別支援学校	選書支援	8月～9月	1 回	- 名
都立青山特別支援学校	選書支援	4月～6月	1 回	- 名
学級 板橋区立志村第三小学校	選書支援	4月	1 回	- 名
目黒区立第三中学校	選書支援	9月, 11月	2 回	- 名
都外 埼玉県立三郷特別支援学校	選書支援	3月	1 回	- 名

(注) (視):視覚障害特別支援学校、(聴):聴覚障害特別支援学校、(知):知的障害特別支援学校、学級:特別支援学級

オ 啓発資料・ブックリスト等の提供（多摩図書館）

- (ア) 「東京都子供読書活動推進資料 子どもたちに物語の読み聞かせを」の改訂及び 約 111,600 部
都内小学校への配布
- (イ) 「東京都子供読書活動推進資料 扉をあけて II」の都内中学校への配布 約 116,000 部
- (ウ) 「東京都子供読書活動推進資料 羅針盤 II」の都内高等学校への配布 約 119,100 部
- (エ) 「都立図書館・学校支援シリーズ これならできる!自由研究 111 枚のアイディアカード集 冊子版」の都内小学校への配布 約 7,500 部
- (オ) 「学校支援ツール」の配布（「読み聞かせABC」「特別支援学校での読み聞かせ」 約 1,900 部
「これならできる!自由研究 111 枚のアイディアカード集」「これならできる!自由研究 111 枚のアイディアカード集冊子版」「読み聞かせに挑戦!中学生・高校生編」「えほんかるた」「ほん・本・ごほん」「ほん・本・ごほんクイズ」「ほん・本・ごほんブックトークシナリオ」を希望する学校へ個別配布）

カ 研修講師等の派遣（特別支援学校等への派遣を除く。）（多摩図書館）

実施校・研修主催者等	内 容	日 程	回数	参加者数
武蔵野市立小中学校教育研究会図書館研究部	図書館見学、ビブリオバトル研修	7月9日	1 回	6 名
東京都教職員研修センター	専門性向上研修 読書活動Ⅱ	8月21日	1 回	83 名
西東京市立保谷中学校	教員対象読み聞かせ講座	8月28日	1 回	35 名
武蔵野市立小中学校教育研究会図書館研究部	授業研究及び協議会講師	10月8日	1 回	7 名
東京都教育委員会	教員対象読み聞かせ講義	10月24日	1 回	400 名
福生市立福生第五小学校	教員対象読み聞かせ講義	1月7日	1 回	30 名
町田市中教研図書館会	教員対象ブックトーク講座	2月4日	1 回	12 名
西東京市立保谷中学校	教員等対象ブックトーク講座	2月20日	1 回	60 名
小平市教育委員会	出張読み聞かせ講座(特別支援学級)	8月25日	1 回	40 名
板橋区立志村小学校	出張読み聞かせ講座(特別支援学級)	10月17日	1 回	40 名

キ 学校への講師派遣等（特別支援学校等への派遣を除く。）（多摩図書館）

学校からの申込みを受け、おはなし会やブックトークを実施したほか、授業への講師派遣及び資料貸出等を行った。

実施校等	内 容	日 程	回数	参加者数
都立小平西高等学校	読み聞かせ講座	5月9日	1 回	12 名
羽村市立羽村第一中学校	ブックトーク	5月14日	6 回	400 名
立川市立第七小学校	図書館見学、絵本の読み聞かせ	5月15日	1 回	32 名
都立南多摩中等教育学校	資料貸出	5月19日～6月2日	1 回	- 名
国立市立国立第六小学校(ねむの木学級)	図書館見学、おはなし会	6月4日、6月10日	2 回	18 名
武蔵村山市立第一中学校	資料貸出	6月12日～7月31日	1 回	- 名
利島村立利島小中学校	資料貸出	6月19日～7月18日	1 回	- 名
小金井市立東小学校	資料貸出	6月27日～7月12日	1 回	- 名
利島村立利島小中学校	資料貸出	7月1日～7月31日	1 回	- 名
立川市立立川第三小学校	図書館見学、おはなし会	7月4日	1 回	103 名
福生市立福生第一中学校	ブックトーク	7月10日	4 回	141 名
都立世田谷総合高等学校	読み聞かせ講座	7月11日、7月15日	2 回	41 名
都立立川高等学校定時制	ブックトーク	7月17日	1 回	97 名
板橋区立志村小学校	自由研究講座	7月19日	1 回	26 名
都立狛江高等学校	ブックトーク	7月23日	1 回	13 名
都立石神井高等学校	ブックトーク	7月24日	1 回	14 名
都立上水高等学校	ブックトーク	8月8日	2 回	20 名
昭島市立中神小学校	資料の貸出	9月1日～10月1日	1 回	- 名
昭島市立中神小学校	資料の貸出	10月6日～11月5日	1 回	- 名
都立上水高等学校	読み聞かせ講座	10月17日	1 回	15 名
府中市立矢崎小学校	資料の貸出	1月18日～2月18日	1 回	- 名

4 職員研修等

(1) 目的

都立図書館職員を対象に、対応すべき課題等に重点を置いた実務的な研修等を実施し、職務遂行上求められる能力や専門知識・技術の習得及び向上を図ることを目的とする。

(2) 実施形態

実務研修及び派遣研修

区分	研 修 名		会 場	回数	修了者数
実務研修	新任・転入職員研修		中央図書館	1 回	18 名
	新任司書職員研修	(前期)	中央図書館	1 回	6 名
		(後期)	中央図書館、多摩図書館	1 回	6 名
	「サービスデザインが図書館を変える」		中央図書館	1 回	94 名
	製本研修	I	中央図書館	1 回	17 名
		II		1 回	21 名

区分	研 修 名	主 催	日数	修了者数
派遣研修	新任図書館長研修	文部科学省、国立大学法人筑波大学、国立教育政策研究所社会教育実践研究センター等	4 日間	1 名
	中堅職員ステップアップ研修 I	公益社団法人日本図書館協会	6 日間	2 名
	第10回レファレンス協同データベース事業担当者研修会	国立国会図書館	1 日間	1 名
	平成26年度国立国会図書館総合目録ネットワーク研修会	国立国会図書館	1 日間	1 名
	平成26年度関東・甲信越静地区図書館地区別研修	文部科学省	4 日間	1 名
	ビジネス・ライブラリアン研修	ビジネス支援図書館推進協議会	3 日間	1 名
	平成26年度法律図書館連絡会「基礎講座」	法律図書館連絡会	1 日間	2 名
	法令・議会・官庁資料研修	国立国会図書館	2 日間	1 名
	第21回医学図書館員基礎研修会	特定非営利活動法人日本医学図書館協会	3 日間	1 名
	日本病院ライブラリー協会研修	日本病院ライブラリー協会	2 日間	1 名
	第34回児童図書館員養成専門研修	公益社団法人日本図書館協会	12 日間	1 名
	2014日本子どもの本研究会第31回研究集会	日本子どもの本研究会	2 日間	1 名
	子どもの本の学校	日本子どもの本研究会「多摩校運営委員会」	9 日間	1 名
	2014年度障害者サービス担当職員養成講座(基礎コース)	公益社団法人日本図書館協会	3 日間	1 名
	平成26年度マルチメディアDAISY製作特別研修	公益社団法人日本障害者リハビリテーション協会	2 日間	1 名
	平成26年度アジア情報研修	国立国会図書館(関西館)	1 日間	1 名
	東京国際ブックフェア eBooks専門セミナー	東京国際ブックフェア実行委員会 リードエグビジョンジャパン株式会社	1 日間	2 名
	第36回文化財の虫菌害保存対策研修会	公益財団法人文化財虫菌害研究所	2 日間	1 名
	保存フォーラム	国立国会図書館	1 日間	4 名
	第8回資料保存シンポジウム	情報保存研究会、公益社団法人日本図書館協会	1 日間	3 名
	平成26年度目録システム講習会	国立情報学研究所	3 日間	1 名
	基礎から学ぶシステム運用管理・実践トレーニング	株式会社富士通ラーニングメディア	2 日間	1 名
	国立国会図書館データベースフォーラム	国立国会図書館	1 日間	2 名
	平成26年度資料デジタル化研修	国立国会図書館	2 日間	1 名
	デジタルアーカイブのための「撮影技術の基礎とデジタル化依頼のための基礎知識」	NPO法人コンサウエル	1 日間	1 名
	平成26年度図書館等職員著作権実務講習会	文化庁著作権課	3 日間	1 名
	ソーシャルメディアマーケティング実践講座	株式会社宣伝会議	1 日間	1 名
	第100回全国図書館大会東京大会	公益社団法人日本図書館協会	1 日間	6 名

5 刊行物及びホームページでの情報提供

(1) 刊行物一覧表（平成 26 年度中に発行した刊行物）

名 称	発行年月日	発行部数
【中央図書館】 事業概要 平成 26 年度版 東京都立中央図書館 新聞・雑誌目録 2014 年 12 月現在 東京都立多摩図書館 新聞・雑誌目録 2014 年 12 月現在 東京都公立図書館録音・点訳図書、拡大写本新作情報 No. 169～No. 174 視覚障害者サービス情報 No. 47～No. 49	平成 26 年 9 月 平成 27 年 3 月 平成 27 年 3 月 平成 26 年 4 月 ～平成 27 年 2 月 平成 26 年 6 月 ～平成 27 年 2 月	800 部 40 部 20 部 各 300 部 各 250 部
【多摩図書館】 子どもたちに物語の読み聞かせを（改訂） これならできる！自由研究 111 枚のアイデアカード集 冊子版	平成 26 年 5 月 平成 26 年 5 月	111,600 部 7,500 部

(2) 有償刊行物（都庁第一本庁舎 3 階 都民情報ルーム等で販売）

名 称	販売開始日	頒布価格	平成26年度販売部数
読み聞かせ ABC 集団の子供たちへの読み聞かせに	平成 24 年 8 月 22 日	200 円	1,681 部
これならできる！自由研究 111 枚のアイデアカード集 冊子版	平成 26 年 6 月 5 日	150 円	1,400 部

(3) 東京都立図書館ホームページの主な掲載情報

レファレンス事例データベース	都立図書館に寄せられたレファレンス事例を再構成し、キーワード等で検索することができるページ
江戸東京デジタルミュージアム	都立図書館が所蔵する江戸・東京の資料を通じて、歴史や文化を楽しみながら学ぶことができるページ
クローズアップ都市・東京情報	都政や東京のニュースや話題をとりあげ、インターネット情報と都立図書館の資料を紹介するページ
都市・東京の記憶	都立図書館が所蔵する、明治期からの東京府や東京市が発行した資料など東京関係の資料を、画像で紹介するページ
TOKYOアーカイブ	都立図書館が所蔵する江戸・東京関係のデジタル化資料を、検索・閲覧することができるページ
こどもページ	テーマ別の本の紹介や、図書館に新しく入った児童書などを紹介する、子供向けのページ
青少年のページ	進路や仕事など将来のことを考えるのに役立つ本や、教科学習に関連する本などを紹介する、中高生世代向けのページ
東京の公立図書館情報	都内にある公立図書館で所蔵している本や資料を検索したり、所在地や行き方を調べることができるページ
専門図書館ガイド	都内及び近県にある専門図書館等（特定分野の資料を所蔵する資料室や図書館）を、分野等で検索することができるページ

VI 所蔵コレクションの紹介

1 中央図書館

(1) 特別文庫室資料

特別文庫室では江戸時代後期から明治時代中期の資料を中心に、約 243,000 点（冊）を所蔵している。これらの資料は、①大正天皇即位礼に際し、東京市に下賜された 10 万円を基金として東京関係資料を収集した東京誌料(ア)、②第二次世界大戦中に東京都が民間の学者や蔵書家から買い上げ、疎開させることによって戦災を免れた戦時特別買上図書（イ～ケ）、③寄託・寄贈資料など（コ～セ）からなっている。

資料は和書、漢籍、絵図、地図、錦絵、建築図面、書簡、拓本、書画、写真など多岐にわたり、当館でしか存在が確認できない資料も多く含まれている。

以下、資料の点数（冊数）には複製資料を含まない。

ア 東京誌料 約 43,500 点（冊）

物語・草双紙・人情本などの文学書類、長祿年代（1450 年代）から大正・昭和に至るまでの地図類、武鑑、錦絵、双六類を中心として、地誌、歴史、風俗、伝記、美術、音曲、演劇、娯楽、法制、産業、経済等、あらゆる分野の東京の郷土誌料を収集している。江戸城造営の大棟梁の職にあった甲良家の「江戸城造営関係資料」646 点は、昭和 62 年に国の重要文化財に指定されている。

イ 加賀文庫 約 24,100 点（冊）

加賀豊三郎氏（1872-1982）の旧蔵書で、和書、古文書、石牘、名家手蹟等を主とする。特に 1,000 余点に及ぶ黄表紙ならびに数百点の洒落本は、近世文学の世界では珍重されているものである。

ウ 諸橋文庫 約 20,000 冊

文学博士諸橋徹次氏（1883-1982）旧蔵の和漢書、経学、史書子類及び集類、叢書及び類書、学者の自筆稿本及び書入本、明版及び清の印本、名家の旧蔵本及び自署本等、漢籍を主とする文庫である。

エ 河田文庫 約 1,900 冊

元大蔵大臣（昭和 15）河田^{いさお}烈氏（1883-1963）の旧蔵書で、祖父河田^{てきさい}通齋から代々集積された書籍である。曾祖父に当たる佐藤^{いつさい}一斎の「愛日楼全集」56 巻の写本、「言志録」の稿本、一斎自筆の日記「腹暦」22 冊ほか、一斎の手写本、書入本、著作、自筆書簡等、貴重なものが多く含まれている。

オ 市村文庫 約 30,200 冊

市村^{さん}瓊次郎氏（1864-1947）の旧蔵書で、漢籍、朝鮮図書、東洋史関係の逐次刊行書などからなり、東洋史研究家にとっては貴重なコレクションである。市村氏の出身地である茨城県の郷土資料なども含まれている。

カ 井上文庫 約 24,300 冊

井上哲次郎^{そんけん}氏（1885-1944）旧蔵書のうちの和装本を集めた文庫である。特に哲学、宗教関係資料が多く、中国思想、日本思想、儒教はもとよりキリスト教や倫理学にまで及んでいる。漢詩文なども所蔵する。

キ 実藤文庫 約 7,600 冊

実藤^{さねとうけいしゅう}恵秀氏（1896-1985）の旧蔵書で、清末以降の日中文化交流に関する資料の文庫である。中国人の日本旅行記、留学生を対象とした日本語の学習書、日本書の漢訳、中国雑誌の創刊号等を収蔵する。魯迅が創刊した雑誌なども含まれている。

ク 渡辺刀水旧蔵諸家書簡文庫 約 8,500 点

もと軍人であり、人物研究家としても活躍した渡辺金造^{とうすい}（刀水）氏（1874-1965）が、現役中から退役後にかけて収集した、近世末期から近代の各分野にわたる人物の書簡を収録する。新井白石、伊藤圭介関係書簡等も含まれている。

ケ 特別買上文庫 諸家 約 38,600 点（冊）

戦時特別買上図書のうち、上記イ～ク以外の 30 余氏の旧蔵書である。

(ア) 国書 言語・文学 約 6,000 冊

言語関係資料には安藤文庫（安藤正次氏旧蔵）の落合^{なのおずみ}直澄旧蔵書、文学関係資料に

は池田文庫（池田^{きかん}鑑氏旧蔵）の伊勢物語の様々な版本や蜂屋文庫（蜂屋^{はちやもきつ}茂橘氏旧蔵）の草双紙類 600 余点がある。

(イ) 国書 総記・その他 約 10,000 点（冊）

岡文庫（岡^{せんじんろうくもん}千仞[鹿門]氏旧蔵）の稿本類、反町文庫（反町茂雄氏旧蔵）の仏教関係古写本、中山文庫（中山久四郎氏旧蔵）の朝鮮使節関係資料、宍戸文庫（宍戸^{ししどさかり}昌氏旧蔵）の海雲楼博物雜纂ほかがある。

(ウ) 漢籍 約 20,000 冊

漢籍及び準漢籍をまとめ、四庫分類により整理されている。かつての著名な古書店文求堂の田中慶太郎・乾郎^{けんろう}父子旧蔵資料を始めとして、中山文庫、岩垂文庫（岩垂^{いわたれのりよし}憲徳氏旧蔵）、蜂屋文庫、横山文庫（横山^{けんどう}健堂氏旧蔵）にも伝本の少ない資料が多い。

(エ) 拓本 約 1,600 点

「日本」の部と「中国・朝鮮」の部に分け、碑・器物等の成立年代順の目録が作られている。

(オ) 書画 約 1,000 点

主として、渡辺金造氏旧蔵の軸装、加賀豊三郎氏旧蔵の一枚もの、及び蜂屋茂橘氏旧蔵の扇面とからなっている。いずれも副次的収集によるものと思われ、特に系統だっているとはいえないが、中には希^{きこう}覯なものも含まれている。

コ 近藤記念海事財団文庫 約 1,500 点

もと日本郵船株式会社社長近藤^{れんぺい}廉平氏（1848-1921）の海運事業に対する功績を顕わすため設立された近藤記念海事財団が、その記念事業の一つとして設置したもので、昭和 6 年に当時の市立日比谷図書館に寄託され、一般公開された。

昭和 20 年に戦災で半数以上が焼失したが、現存する資料は、海運、航海、漂流記、海事史、海事行政等に関するもので、この種の研究、調査には不可欠の貴重な資料である。

サ 青淵論語文庫 約 5,800 冊

論語を愛好した渋沢^{せいえん}栄一（青淵）氏（1840-1931）が創始した文庫で、大正 12 年の関東大震災でそのほとんどを失ったが、孫

の渋沢敬三氏（1896-1963）がその意志を継ぎ、収集したものである。論語を主軸とした四書類の正文・古注・朱注・注釈・擬本等を収録する。昭和 38 年に都立日比谷図書館に寄贈された。

シ 中山太郎収集詫状類 約 200 点

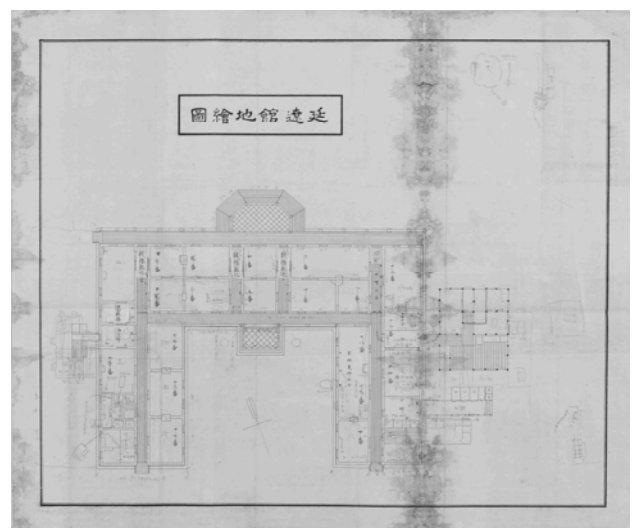
中山太郎氏（1876-1947）が収集した、正保 2（1645）年から大正 4（1915）年にかけての、詫状を中心とした文庫である。他に類を見ない珍しいコレクションである。

ス 木子文庫 約 29,000 点

代々内裏の作事に関わる大工であった木子家伝来の資料で、1975 年に木子清忠氏（1913-1995）から寄贈された建築関係資料である。明治宮殿及び明治期洋風建築の図面類が最も多く、江戸中期以降の近畿地方の寺社、御所等の建築図、工匠他家の資料も含まれている。

セ 新収資料 約 7,500 点

戦後寄贈された資料、補完のために購入した資料等が含まれている。



▲『延遼館平面図』請求記号:木 89-2-3

延遼館とは、明治 2 年（1869）に政府が浜離宮（現在の浜離宮恩賜庭園）内に建設した、宿泊機能を持った迎賓館である。外国貴賓の接待や政府の会議の場として、鹿鳴館以前の明治初期の外交に大きな役割を果たした。外観は和風でありながら、内部は絨毯敷で暖炉や洋風家具が設置され、洋風の建築様式を導入した官公庁建築として最も初期のものとなっている。

(2) 東京資料

主に明治以降に刊行された江戸及び東京関係資料を包括的に収集している。都の各部局の刊行物及び区市町村の編集発行物などの行政資料を中心に、個人、出版社及び各種団体に編集発行された郷土資料など図書約 225,200 冊を所蔵している。また、都及び区市町村の広報紙をはじめとする新聞は約 620 種、雑誌は約 2,050 種である。

「TOKYO アーカイブ」や「都市・東京の記憶」では、絵葉書、写真帖、近代の地図、東京府・東京市関係資料等、所蔵資料の一部の画像を公開している。

(3) 海外資料

ア 洋書

英語を中心に、ドイツ語、フランス語、ロシア語、スペイン語、イタリア語及びその他の外国語で書かれた図書約 150,000 冊（中国語、韓国・朝鮮語図書を除く。）がある。

利用者の調査研究活動及び教養の向上に資するため、外国語図書を幅広く所蔵している。特に、書誌索引類や言語辞典、各分野の辞典等参考図書の充実を図っている。

参考図書以外では、自然科学・工学・産業の分野は概説書等が中心であるが、人文科学関係等については、日本における研究や出版の少ないもの、学術的に価値の高いもの等、専門書や研究書も収集・所蔵している。

文学については、日本文学の各国語翻訳書も収集しており、日本に関する外国語図書とともに、洋書の蔵書において特色の一つとなっている。

イ 中国語、韓国・朝鮮語図書

(ア) 中国語図書

中国、香港特別行政区及び台湾などで発行された現代中国語図書約 65,000 冊がある。

1972 年から収集を開始し、古典や現代小説などの文学や、社会科学、歴史・地理、中国医学、芸術などの幅広いジャンルにわたっている。

(イ) 韓国・朝鮮語図書

大韓民国と朝鮮民主主義人民共和国両国で発行された現代書を中心とする韓国・朝鮮語図書約 20,000 冊がある。

1975 年から収集を開始し、幅広い分野の図書を所蔵している。

各種辞事典類にも重点をおいて収集している。

2 多摩図書館

(1) 山本有三文庫

小説家、劇作家である故山本有三氏（1887-1974）の旧蔵書で、文学・国語・歴史を中心とした図書約 13,500 冊、雑誌約 300 誌がある。

(2) 雑誌創刊号コレクション

「東京マガジンバンク」では、雑誌の創刊号を収集し「創刊号コレクション」として、平成 27 年 3 月末現在 6,378 誌を所蔵している。開架閲覧室のコーナーには、その中から選んだ雑誌の表紙をパネル展示している。

創刊号は、発行年代順やジャンル別に比較し、通覧することで時代の流れが見えるもので、貴重なコレクションである。

(3) 児童・青少年資料

明治以降に日本で出版された児童書（図書・雑誌）、海外で刊行された児童書、児童図書館についての研究書、青少年用図書など約 214,000 冊を所蔵している。内、中国、韓国・朝鮮語図書を中心としたアジア系諸言語の児童図書は、約 5,800 冊である。

貴重なコレクションとしては、明治期刊行の「ちりめん本」といわれる日本の昔話絵本シリーズがある。これは、縮緬ちりめんのように縮れた和紙を使い、外国人向けに刊行されたものである。また、戦前から戦後にかけて子供向けに発行された「少国民新聞」の一部を所蔵している。

青少年用資料は、調べ学習、進路選択を支援する資料を中心に、幅広い分野から厳選し所蔵している。

Ⅶ 東京都立図書館協議会

1 東京都立図書館協議会の概要

東京都立図書館協議会は、図書館法第 14 条及び東京都立図書館条例第 3 条に基づいて設置されている機関であり、都立中央図書館長の諮問に応じるとともに、図書館サービスについて意見を述べる役割を担っている。

2 第 26 期東京都立図書館協議会について

「読書活動の推進に向けた都立図書館の役割について」をテーマとして協議し、平成 27 年 3 月に提言をまとめた。平成 26 年度は定例会を 3 回、作業部会を 2 回開催した。

3 第 26 期東京都立図書館協議会提言「読書活動の推進に向けた都立図書館の役割について」の概要

第 21 期提言（平成 15 年）「子どもの読書活動推進をはかるために都立図書館は何をすべきか」の後を受け、その後の SNS 機器類の多様化や電子出版物の普及等の状況の変化に配慮しつつ、更なる読書活動推進を目指した。都道府県立図書館としての役割に焦点をあて中長期的な方向性を提言 1 から 4 により示した。

（以下抜粋）

＜提言 1＞ 間接的なサービスと直接的なサービスの有機的な結合

都立図書館は、都民の読書活動を推進するため、「都道府県立図書館」としての区市町村立図書館や学校図書館への支援（間接的なサービス）を拡充するとともに、都民に対する直接的なサービスについてもより一層展開していかなければならない。間接的なサービスと直接的なサービスは有機的に結びつくことが必要であり、後者の拠点のひとつとして、新多摩図書館を位置づけることを視野に入れるべきである。また、その際には、障害者や外国人に対するサービスにも配慮しなければならない。

＜提言 2＞ 子供の読書活動及び成人の生涯学習活動への支援

子供（児童・青少年（ヤングアダルト））の良質な読書習慣を育むためには人的資源が重要であり、都立図書館は、研修の開催や講師派遣などを通じて、このための人材育成に貢献しなければならない。

また、読書活動の推進における公立図書館の機能や役割について、生涯学習活動への寄与をも念頭に置きつつ、研究を進めていくべきである。

＜提言 3＞ 電子的な図書館サービスの活用

地理的に遠隔な都民に対して都立図書館機能の利用可能性を高めるには、インターネットを活用した電子的な図書館サービスが欠かせない。電子書籍の普及をも鑑みつつ、電子的なサービスの一層の拡充に努める必要がある。

また同時に、インターネットの利用技術の変化（スマートフォンの高度化・普及など）に対応したデジタルデバイド解消のための方策を検討すべきである。

＜提言 4＞ 「家庭」「学校」「地域」との連携を図り都立図書館のサービスを効果的に P R

読書活動の推進を効果的に図るには、「家庭」「学校」「地域」との直接的・間接的な連携を深めることが重要であり、そのためにこれらの連携を視野に入れた機能・サービスの拡充を図る必要がある。可能な限り数多くの都民に対して、それらを利用する機会を提供すべきであり、そのためには拡充した機能・サービスの一層の周知（P R・広報）に努めなければならない。

東京都立図書館協議会第 26 期委員名簿（任期 平成 25 年 5 月 1 日～平成 27 年 4 月 30 日）

氏 名	職 名（平成 25 年 5 月 1 日現在）
岩 崎 久美子	国立教育政策研究所生涯学習政策研究部総括研究官
押 尾 勲	東京都立南多摩中等教育学校長 兼 東京都立南多摩高等学校長
岸 田 和 明	慶應義塾大学文学部教授
小 池 眞喜夫	港区教育委員会教育長
近 藤 精 一	東京学芸大学大学院教育学研究科（教職大学院）教授
齊 藤 一 誠	国際基督教大学学長特別補佐
坂 倉 仁	八王子市教育委員会教育長
武 山 洋二郎	帝京大学中学校・高等学校長
梨 屋 アリエ	児童文学作家・法政大学非常勤講師
野 末 俊比古	青山学院大学教育人間科学部准教授
原 田 久 義	国立国会図書館電子情報部主任司書
星 野 喜代美	文教大学付属中学・高等学校長



近藤議長（左）から松山館長（右）に提言を手交
（平成 27 年 3 月 27 日 第 8 回定例会）

東京都立図書館協議会答申等の沿革

期	期 間	答申等年月	答 申 等
第1期	昭和35年2月 ～昭和37年1月	昭和37年2月	東京都の公共図書館総合計画 (答申)
第2期	昭和37年2月 ～昭和39年1月	昭和38年7月	東京都立日比谷図書館分館の建設について (意見具申)
第4期	昭和41年3月 ～昭和43年2月	昭和43年2月	都立日比谷図書館における司書職のあり方 (答申)
第6期	昭和45年4月 ～昭和47年3月	昭和46年12月	東京都立中央図書館の専門職員の養成に関する答申 (答申)
第8期	昭和47年7月 ～昭和49年6月	昭和49年6月	東京都立中央図書館における心身障害者サービスの あり方 (答申)
第11期	昭和55年9月 ～昭和57年9月	中間答申 昭和56年6月 最終答申 昭和57年5月	都立図書館の体系化及び近代化に関する答申 (答申)
第15期	昭和63年10月 ～平成2年10月	中間答申 平成2年3月 最終答申 平成2年10月	新日比谷図書館の機能について (答申)
第16期	平成3年1月 ～平成5年1月	平成4年12月	都立図書館の資料の保存機能について (意見具申)
第17期	平成5年4月 ～平成7年4月	平成7年3月	都立中央図書館における当面の海外資料サービスの あり方について (意見具申)
第18期	平成7年7月 ～平成9年7月	平成9年3月	21世紀の都民生活を豊かにする都立図書館の創造 －生涯学習社会における都立図書館の役割－ (答申)
第19期	平成9年11月 ～平成11年10月	平成11年10月	児童・青少年に対して図書館は何ができるか？ －社会問題への図書館の関わり方－ (提言)
第20期	平成11年11月 ～平成13年10月	平成13年10月	高度情報化社会における都立図書館のサービスのあり方 －ITを活用したサービスの革新－ (提言)
第21期	平成14年4月 ～平成16年3月	平成15年3月 平成16年2月	子どもの読書活動推進をはかるために都立図書館は何を すべきか (提言1) 都内公共図書館発展のための連携協力について (提言2)
第22期	平成16年10月 ～平成18年9月	平成18年3月	調査研究図書館におけるサービスのあり方について (答申)
第23期	平成18年12月 ～平成20年11月	平成20年11月	都立図書館のサービスと図書館改革の評価について (提言)
第24期	平成21年5月 ～平成23年4月	平成23年3月	デジタル時代の都立図書館像 (提言)
第25期	平成23年5月 ～平成25年4月	平成25年3月	都民の課題解決に役立つ図書館を目指して －より質の高い図書館サービスの追求－ (提言)
第26期	平成25年5月 ～平成27年4月	平成27年3月	読書活動の推進に向けた都立図書館の役割について (提言)

VIII 資料

1 東京都立図書館館則

(昭和62年3月20日 東京都教育委員会規則第11号)
最終改正 平成20年12月25日

第1章 総則

(目的)

第1条 この規則は、東京都立中央図書館(以下「中央図書館」という。)及び東京都立多摩図書館(以下「多摩図書館」という。)の運営等に関し、必要な事項を定めることを目的とする。

(図書館の運営)

第2条 図書館法(昭和25年法律第118号)の趣旨に基づき、中央図書館は、主として情報サービス、都内公立図書館その他の図書館等(以下「都内公立図書館等」という。)に対する協力支援及び図書館未整備地域に対する補完サービスを、多摩図書館は、主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関する情報サービス等を行うものとする。

2 中央図書館及び多摩図書館は、中央図書館の統括の下に、相互に機能を分担し、密接な連携を図り、一体的な運営を行うものとする。

第2章 中央図書館

(事業)

第3条 中央図書館は、次の事業を行う。

- 一 図書館資料の館内利用
- 二 利用者に対する情報サービス
- 三 都内公立図書館等に対する協力支援
- 四 島しょ地域の図書館未整備地域に対する補完サービス
- 五 図書資料(図書館資料のうち視聴覚資料を除く。以下同じ。)のマイクロフィルム及び電子媒体並びに東京に関するフィルム、磁気テープ等の作製
- 六 時事に関する情報及び参考資料の紹介及び提供
- 七 視覚障害者に対する資料の朗読及び録音
- 八 図書資料等の複写
- 九 図書館職員等に対する研修
- 十 海外の図書館等との交流
- 十一 その他中央図書館の目的達成のために必要な事業

(開館時間及び休館日)

第4条 中央図書館の開館時間及び休館日は、別表

のとおりとする。ただし、東京都教育委員会(以下「教育委員会」という。)は、事情によりこれらを変更し、又は臨時に休館日を指定することができる。

(入退館)

第5条 中央図書館に入館しようとする者は、図書館資料の利用に伴い必要とするものを除き、所持品を所定のロッカーに収納するものとする。

2 中央図書館長(以下この章において「館長」という。)は、図書館の秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼした者に対し、図書館資料の閲覧の停止又は退館をさせることができる。

(開架閲覧室等)

第6条 中央図書館の入館者が図書資料の閲覧等に利用できる場所は、館長が別に定める。

(視覚障害者サービス室)

第7条 視覚障害者は、中央図書館の視覚障害サービス室を利用することができるものとし、その利用については、館長が別に定める。

(利用者の行う複製)

第8条 館長は、中央図書館の図書館資料の複製につき特別の事情があると認める場合には、方法等を指定の上、利用者の機材により複製させることができる。

(協力支援に伴う貸出し)

第9条 都内公立図書館等に対する中央図書館の図書館資料の貸出しに関しては、館長が別に定める。

(損害賠償)

第10条 中央図書館において、利用者が図書館資料を紛失し、又は損傷した場合には、別に定めるところにより、その損害を賠償しなければならない。

第3章 多摩図書館

(事業)

第11条 多摩図書館は、次の事業を行う。

- 一 図書館資料の館内利用
- 二 主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関しての利用者に対する情報サービス
- 三 主として雑誌、児童資料及び青少年資料等に関しての都内公立図書館等に対する協力支援
- 四 時事に関する情報及び参考資料の紹介及び提供
- 五 視覚障害者に対する資料の朗読及び録音
- 六 図書資料等の複写

- 七 視聴覚資料の団体に対する館外貸出し
- 八 その他多摩図書館の目的達成のために必要な事業
(開館時間及び休館日)

第12条 多摩図書館の開館時間及び休館日は、別表のとおりとする。ただし、教育委員会は、事情によりこれを変更し、又は臨時に休館日を指定することができる。

(入退館)

第13条 多摩図書館に入館しようとする者は、図書館資料の利用に伴い必要とするものを除き、所持品を所定のロッカーに収納するものとする。

2 多摩図書館長（以下この章において「館長」という。）は、図書館の秩序を乱し、又は他人に迷惑を及ぼした者に対し、図書館資料の閲覧の停止又は退館をさせることができる。

(開架閲覧室等)

第14条 多摩図書館の入館者が図書館資料の閲覧等に利用できる場所は、館長が別に定める。

2 視覚障害者は、多摩図書館の対面朗読室を利用することができるものとし、その利用については、館長が別に定める。

(利用者の行う複製)

第15条 館長は、図書館資料の複製につき特別の事情があると認める場合には、方法等を指定の上、利用者の機材により複製をさせることができる。

(損害賠償)

第16条 多摩図書館において、利用者が図書館資料を紛失し、又は損傷した場合には、別に定めるところにより、その損害を賠償しなければならない(視聴覚資料の館外貸出し)

第17条 多摩図書館における視聴覚資料の団体に対する館外貸出しの手続きについては、館長が別に定める。

(視聴覚資料の利用)

第18条 館長は、前条の規定により貸出しを受けた団体が視聴覚資料の返還を怠り、又は督促しても返還しない場合には、以後当該団体に対し、視聴覚資料の利用をさせないことができる。

第4章 補則

(委任)

第19条 この規則の施行について必要な事項は、東京都教育委員会教育長が定める。

附 則 (施行期日)

- 1 この規則は、昭和62年4月1日から施行する。(東京都立、立川、青梅、八王子図書館館則の廃止)
- 2 東京都立、立川、青梅、八王子図書館館則(昭和32年東京都教育委員会規則第27号)は、廃止する。

附 則(昭和63年教委規則第17号)

この規則は、昭和63年4月1日から施行する。

附 則(平成3年教委規則第18号)

この規則は、平成3年4月1日から施行する。

附 則(平成14年教委規則第27号)

この規則は、平成14年4月1日から施行する。

附 則(平成16年教委規則第24号)

この規則は、平成16年4月1日から施行する。

附 則(平成18年教委規則第34号)

この規則は、平成18年4月1日から施行する。

附 則(平成20年教委規則第75号)

この規則は、平成21年4月1日から施行する。ただし、第6条の規定は、公布の日から施行する。

別 表(第4条、第12条関係)

開 館 時 間		
中央図書館	月曜日から金曜日まで(1月4日を除く。)	午前10時から午後9時まで。ただし、その日が国民の祝日に関する法律(略)第3条に規定する休日(略)に当たるときは、午前10時から午後5時30分まで
	土曜日及び日曜日(1月4日を除く。)	午前10時から午後5時30分まで
	1月4日	午後1時から午後9時まで。ただし、土曜日、日曜日及び休日に当たるときは、午後1時から午後5時30分まで
多摩図書館	月曜日から金曜日まで(1月4日を除く。)	午前9時30分から午後7時まで。ただし、その日が休日に当たるときは、午前9時30分から午後5時まで
	土曜日及び日曜日(1月4日を除く。)	午前9時30分から午後5時まで
	1月4日	午後1時から午後7時まで。ただし、土曜日、日曜日及び休日に当たるときは、午後1時から午後5時まで
休 館 日		
年 始	1月1日から同月3日まで	
年 末	12月29日から同月31日まで	
設備等の保守点検日	毎月1日以内	
館内整理日	毎月第一木曜日。ただし、その日が休日又は他の休館日に当たるときは、第二木曜日	
特別整理期間	1年のうち12日以内	

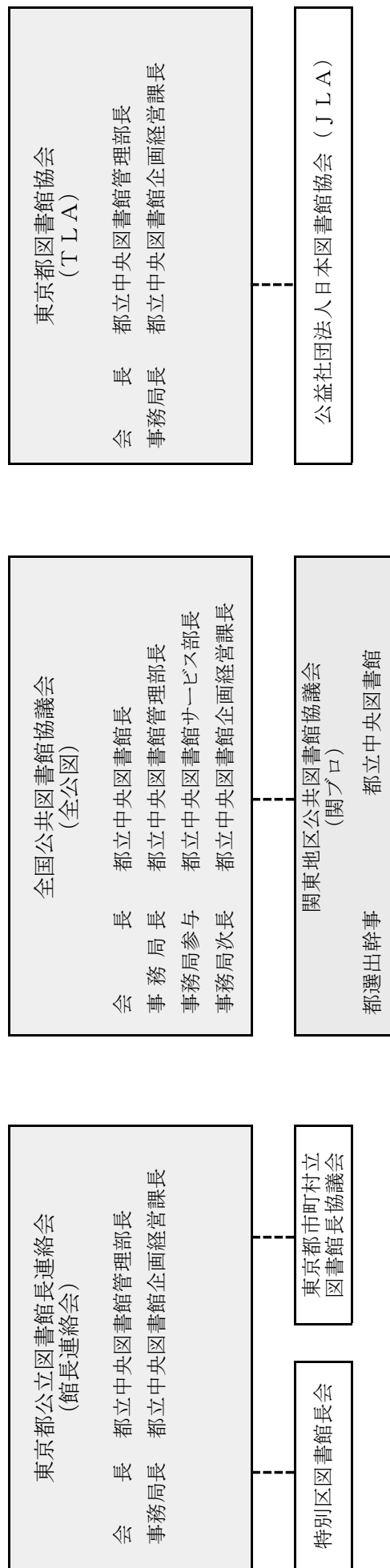
2 東京都立図書館沿革

- 明治 37. 3 東京市議会で通俗図書館の設置を決議
41. 11 東京市立日比谷図書館開館
- 大正 元. 9 東京市立図書館処務規程制定
4. 3 東京市立図書館館則及び同処務規程改正、日比谷図書館を中心とする東京市立図書館体制成立(19館)
- 昭和 6. 4 東京市立図書館処務規程改正
18. 7 都政施行、都立図書館となる。
20. 5 都立日比谷図書館空襲焼失
22. 1 都立立川図書館開館
3 都立青梅図書館開館
24. 11 都立日比谷図書館再開
25. 10 都立日比谷図書館を除く、区部の都立図書館、区へ移管
30. 1 市立八王子図書館、都へ移管
2 都立日比谷図書館、養生館へ移転
32. 10 都立日比谷図書館新館開館
36. 4 都立日比谷図書館増改築、開館
37. 2 「東京都の公共図書館総合計画 1962」(都立日比谷図書館協議会答申)
38. 7 「東京都立日比谷図書館分館の建設について」(都立日比谷図書館協議会答申)
39. 3 東京都立図書館設置条例制定
43. 2 「都立日比谷図書館における司書職のあり方」(都立日比谷図書館協議会答申)
3 都立中央図書館(仮称)建設計画策定
44. 9 「東京都立図書館の整備充実計画」策定(都立日比谷図書館)
45. 6 「図書館政策の課題と対策」(都の公共図書館振興施策)を知事に報告(図書館振興プロジェクトチーム)
46. 12 「東京都立中央図書館の専門職員の養成に関する答申」(都立日比谷図書館協議会)
47. 10 東京都立図書館設置条例一部改正(昭和47年12月 東京都立中央図書館設立)
11 「司書職制度を中心とした区立図書館振興対策」について知事に報告(図書館振興プロジェクトチーム)
12 都立江東図書館基本構想策定(図書館建設問題協議会)(東京都中期計画ー1972ーに組み入れる)
48. 1 都立中央図書館開館
10 都立江東図書館基本計画策定(図書館建設委員会、建設調査会)
49. 6 「東京都立中央図書館における心身障害者サービスのあり方」について(都立中央図書館協議会答申)
9 「都立多摩センター図書館(仮称)構想」中間報告(多摩三館連絡会)
51. 3 東京都立図書館設置条例一部改正、東京都立江東図書館館則制定(昭和51年4月 東京都立江東図書館設立、昭和51年6月 開館)
53. 7 「都立図書館整備の方向と対策(中間報告)」(都立図書館のあり方検討委員会)
9 「多摩地区における都立図書館の将来構想」を教育長に報告(多摩地区都立図書館将来計画検討協議会)
56. 6 「都立図書館の体系化および近代化に関する中間答申」(都立中央図書館協議会)
57. 3 「都立図書館のあり方検討委員会第二次報告」(都立図書館のあり方検討委員会)
3 「都立中央図書館電算システム導入に関する基本構想」策定(都立中央図書館)
5 「都立図書館の体系化および近代化に関する答申」(都立中央図書館協議会答申)
5 「都立多摩図書館(仮称)検討報告書」(多摩三館連絡会)
11 「東京都多摩教育センター(仮称)基本計画概要」発表(教育庁)
12 「多摩教育センター内都立多摩図書館の具体的構想と課題」(多摩三館連絡会)
59. 8 「都立図書館電算システム基本計画」策定(都立中央図書館)

- 60. 3 都立図書館電算システム設計開始
- 61. 6 東京都立図書館設置条例の一部改正（昭和 61 年 10 月 東京都立江東図書館を江東区へ移管）
- 62. 3 東京都立図書館設置条例改正（名称変更：東京都立図書館条例 昭和 62 年 4 月 東京都立多摩図書館設立）
 - 5 都立多摩図書館開館
- 63. 3 都立図書館電算システム和図書稼動
 - 10 都立図書館電算システム逐次刊行物（年鑑・年報）稼動
- 平成 元. 6 都立図書館電算システム洋書稼動
 - 10 都立図書館電算システム逐次刊行物（新聞・雑誌）稼動
- 2. 3 「新日比谷図書館の機能について」（都立図書館協議会中間報告）
 - 10 「新日比谷図書館の機能について」（都立図書館協議会答申）
- 4. 4 C D－R O Mによる東京都図書館情報ネットワーク稼動
 - 12 「都立図書館の資料の保存機能について」（都立図書館協議会意見）
- 7. 3 「都立中央図書館における当面の海外資料サービスのあり方について」（第 17 期東京都立図書館協議会意見書）
- 9. 3 「新日比谷図書館基本構想」（教育庁新日比谷図書館基本構想検討委員会）
 - 「21 世紀の都民生活を豊かにする都立図書館の創造－生涯学習社会における都立図書館の役割」（第 18 期東京都立図書館協議会答申）
- 10. 3 「東京都立図書館中期運営計画」策定（都立三館）
 - 7 都立図書館処務規則全部改正
- 11. 10 「児童・青少年に対して図書館は何ができるか？－社会問題への図書館の関わり方」（第 19 期東京都立図書館協議会提言）
 - 11 「資料保存計画」策定（東京都立図書館資料保存委員会）
 - 東京都教育委員会「とうきょう親子ふれあいキャンペーン」＝図書館活用講座実施
 - 12 新電算システム移行に伴い目録カードの廃止、電算工事開始
- 12. 2 都立図書館新電算システム稼動
 - 都立図書館ホームページ開設
 - 3 「東京都立図書館情報サービス規程」制定
- 13. 4 政策立案支援サービスを全庁対象に実施
 - 8 都立日比谷図書館耐震補強工事のため休館（平成 14 年 2 月まで、休館中に児童青少年資料を多摩図書館に移送）
 - 10 「高度情報化社会における都立図書館のサービスのあり方－I Tを活用したサービスの革新」（第 20 期東京都立図書館協議会提言）
 - 11 都立図書館事務事業評価結果が出る。
- 14. 1 「今後の都立図書館のあり方～社会経済の変化に対応した新たな都民サービスの向上を目指して～」（都立図書館あり方検討委員会報告）
 - 3 「東京都立図書館規則」「東京都立図書館処務規則」「東京都立図書館係設置に関する規定」の一部改正
 - 4 都立中央・日比谷・多摩図書館の 3 館を組織統合し都立図書館として一体化運営を図る。
 - 都立中央・多摩図書館入館年齢制限を撤廃
 - 5 都立多摩図書館、児童・青少年サービスを開始
- 15. 3 「子ども読書活動推進をはかるために都立図書館は何をなすべきか」（第 21 期東京都立図書館協議会提言 1）
 - 6 都立中央図書館「ビジネス支援サービス」を開始（平成 19 年度から、「ビジネス情報サービス」に変更）
- 16. 2 「都内公共図書館発展のための連携協力について」（第 21 期東京都立図書館協議会提言 2）
 - 4 都立中央・多摩図書館開館時間を延長
 - 6 都立中央図書館「医療情報サービス」を開始
- 17. 8 「都立図書館改革の基本的方向」（第二次都立図書館あり方検討委員会報告）

18. 3 「調査研究図書館におけるサービスのあり方について」（第 22 期東京都立図書館協議会答申）
 - 7 都立中央図書館重点の情報サービス「法律情報サービス」を開始
 - 8 東京都教育委員会「都立図書館改革の具体的方策」を公表
19. 3 東京関係資料の横断検索システム「東京資料サーチ」がスタート
 - 7 都立中央図書館 新聞記事横断検索データベース（G－Search サービス）の有償提供の試行開始
 - 9 都立図書館メールマガジン「都立図書館通信」の配信開始
20. 4 ワンストップサービスに向けて、都立中央図書館情報サービス課の 8 係を 6 係に組織改正
 - 10 東京都教育委員会と千代田区教育委員会、都立日比谷図書館の千代田区移管に向けた基本的な方向性について合意
 - 11 都立図書館創立 100 周年＜明治 41 年（1908）年 11 月 16 日、東京市立日比谷図書館として開館＞
「都立図書館のサービスと図書館改革の評価について」（第 23 期東京都立図書館協議会提言）
都立多摩図書館 都市・東京資料の集中化の方針に基づき、多摩地域資料を都立中央図書館に移管
 - 12 「東京都立図書館条例」「東京都立図書館館則」「東京都立図書館処務規則」の一部改正
21. 1 都立中央図書館リニューアルオープン 記念企画展及び講演会等を実施
 - 都立中央図書館「都市・東京情報サービス」を開始
 - 3 都立日比谷図書館は、千代田区へ移管することに伴い、3 月 31 日まで開館し、4 月 1 日から移管準備作業のため休館（7 月 1 日移管）
 - 4 都立中央図書館では、複写受付時間を早め、午前 10 時から開始
 - 5 都立多摩図書館リニューアルオープン、「東京マガジンバンク」開設 記念展示及び講演会等を実施
 - 7 都立日比谷図書館を千代田区へ移管
 - 9 都立多摩図書館 外部倉庫に保管中の資料等の取り寄せサービスを開始
22. 1 「著作権法の一部を改正する法律」（平成 22 年 1 月 1 日）施行に伴い、視覚障害者以外にも、DAISY 図書や点字図書の貸出しを開始
 - 都立中央図書館は、文部科学省の呼びかけにより、有志図書館が結成した「図書館海援隊」プロジェクトに参加
 - 3 「都立図書館視覚障害者等サービス要綱」の改正
都立図書館ホームページで、資料の閲覧予約（取り置き）サービスを開始
 - 8 東京都立図書館資料保存ガイドラインの策定
23. 3 東日本大震災被災地支援のため、サービス対象地域を一時的に拡大（～平成 23 年 12 月）
「デジタル時代の都立図書館像」（第 24 期東京都立図書館協議会提言）
 - 10 ウェブサイト「江戸・東京デジタルミュージアム」を開設
 - 11 東京都立図書館 Twitter を開始
 - 12 図書館情報システムリニューアル。統合検索システムの導入、登録利用者サービスの開始
東京都立図書館 Facebook を開始
24. 7 都立中央図書館建物内全面禁煙化
 - 10 電子新聞（2 タイトル）の閲覧を開始
25. 1 都の施設で初めて新電力の部分導入を実施
 - 3 東京都立図書館資料防災マニュアルの作成
「都民の課題解決に役立つ図書館を目指して－より質の高い図書館サービスの追求－」（第 25 期東京都立図書館協議会提言）
 - 5 ウェブサイト「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYO アーカイブ）」を開設
 - 12 都立中央図書館タブレット端末による電子書籍サービスの試行開始
26. 1 「国会国会図書館デジタル化資料送信サービス」の館内利用開始
 - 2 ウェブサイト「東京都立図書館デジタルアーカイブ（TOKYO アーカイブ）」機能追加
27. 3 「読書活動の推進に向けた都立図書館の役割について」（第 26 期東京都立図書館協議会提言）
 - 4 「都立多摩図書館の移転について」（施設概要、サービス展開予定等）を教育委員会に報告

3 圖書館關係團體・組織一覽



- 東京都立図書館長連絡会(館長連絡会)

都内公立図書館相互の連絡を密にし、都内における図書館事業の発展のため、必要な連絡、調整及び情報交換を行うことを目的に、東京都公立図書館長連合会設置要綱(17中図管企第74号)により、平成17年6月に設置された。当館管理部長及び各区市町村の中心館長をもって組織され、会長には、当館管理部長、副会長には、特別区図書館長会幹事長及び東京都市町村図書館協議会会長が充てられている。

- 全國公共圖書館協議會(全國)

全国の公共図書館相互の連絡を密にし、図書館に関する調査研究を行う、図書館の発展を図ることを目的に、昭和45年6月25日に設置された。会長、副会長は、理事の互選として総会において承認されるが、慣例として、会長等には、上記のとおり当館職員が就任している。

- 3 東京都図書館協会 (TLA)

都内の図書館及び関係機関並びに、これらに繋がる者との連絡を図り、図書館事業の発展向上と会員相互の交流を深めることを目的に、昭和51年5月に設置された。会長等役員は、総会において選出されるが、慣例として、会長等には、上記のとおり当館職員が就任している。

- 4 関東地区公共図書館協議会 (関ブロ)

関東地区内の公共図書館の連絡を密にし、図書館事業を推進することを目的に、昭和29年4月に規約が制定された。当館は、役員（都選出幹事）として参画している。

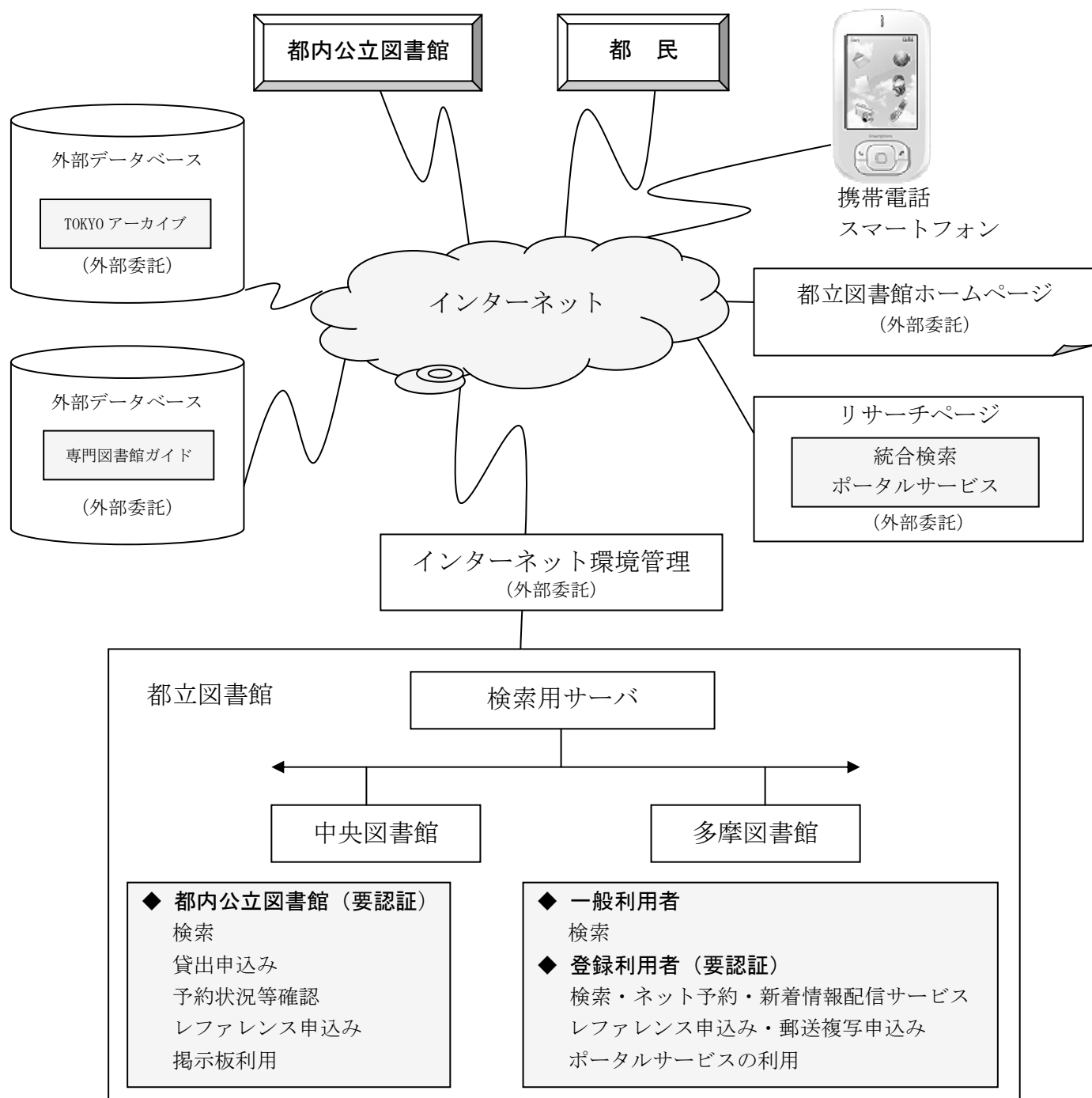
※※当館は、公益社団法人日本図書館協会（JLA）に加入していない。

4 東京都立図書館ネットワーク概念図

第1期 (METLICSⅠ)：昭和63年3月～

第2期 (METLICSⅡ)：平成12年2月～平成17年6月に機器更新

第3期 (METLICSⅢ)：平成23年12月～



Web 方式のシステム

- ・ サーバ : 14 台
- ・ クライアント : 185 台

業務用 : 114 台 (中央 91 台、多摩 23 台)
利用者用 : 71 台 (中央 56 台、多摩 15 台)

5 東京都立図書館シンボルマーク

都立図書館の広報戦略の一環として、平成 22 年度に、都立図書館シンボルマーク作成のために、都立高等学校生徒を対象としてデザインの募集を行った。70 名の生徒から 250 点の提案を受け、選考によりシンボルマークを決定した。

以下の 4 種類を広報活動等に活用している。

共通 シンボルマーク		中央図書館・多摩図書館の両館にまたがる事業で使用
中央図書館 シンボルマーク		中央図書館が実施する事業で使用
多摩図書館 シンボルマーク 1		多摩図書館が実施する事業で使用 (ただし、児童青少年資料サービス及び子供読書推進活動に関する事業を除く。)
多摩図書館 シンボルマーク 2		多摩図書館の児童青少年資料サービス及び子供読書推進活動に関する事業で使用

6 ホームページ及びソーシャルメディア

東京都立図書館ホームページ

<http://www.library.metro.tokyo.jp/>



携帯電話からのアクセス

- ホームページの携帯用サイト
<http://www.library.metro.tokyo.jp/Portals/0/i/>
- 携帯電話からの蔵書検索
<https://catalog.library.metro.tokyo.jp/winj/mobileopac/top.do>

東京都立図書館 Twitter

https://twitter.com/tm_library

東京都立図書館 Facebook

<http://www.facebook.com/tmlibrary>

メールマガジン「都立図書館通信」

ホームページからご登録下さい。

7 フロア概要

(1) 中央図書館

中央図書館は、有栖川宮記念公園の高台にあります。5階建ての図書館は、銀杏、メタセコイヤ、樺、桜などたくさんの樹木に囲まれ、四季折々に落ち着いた佇まいを見せています。

1階

○ 利用者玄関ホール

受付カウンターで受け取る「入館証」は、書庫内資料やインターネットパソコン等の利用に用います。

○ 中央ホール

* 総合案内・相談カウンター

司書職員が資料に係る相談に応じます。

* 資料お渡し・返却カウンター

書庫内資料の出納を行います。

* 複写受付カウンター

○ 重点的情報コーナー

* ビジネス情報コーナー

ビジネスに役立つ企業情報・業界情報等を中心に、資格取得や就職活動に役立つ資料も備えています。

* 法律情報コーナー

法律関係の基本図書や、相続・遺言、交通事故等の身近な法律テーマに対応した資料を備えています。

* 健康・医療情報コーナー

病気や薬、病院情報など、健康・医療について調べたいときに役立つ資料を備えています。

* 闘病記文庫

闘病体験記録約 1,800 冊を備えています。

○ 新聞閲覧コーナー

全国紙、スポーツ紙、業界紙、各県の地方新聞など、最新の3か月分程度が自由に閲覧できます。新聞縮刷版や官報の一部、和洋の一般週刊誌 13 誌も備えています。

過去の新聞（約 500 紙）や、一般週刊誌以外の雑誌（約 4,000 誌）、マイクロ資料は、すべて書庫にあります（雑誌は一部、重点的情報コーナーに備えているものがあります。）。

○ 都市・東京情報コーナー

東京都の行政資料（都・区市町村発行）及び東京に関する資料を集め提供しています。また、「都市計画」「都市産業」など都市に関する資料を9つのテーマで配置するとともに、国内の政令指定都市や海外の主要都市に関する資料も集め、広く「都市」に関する情報を提供しています。開架図書は約 32,000 冊です。

○ 基本参考図書コーナー

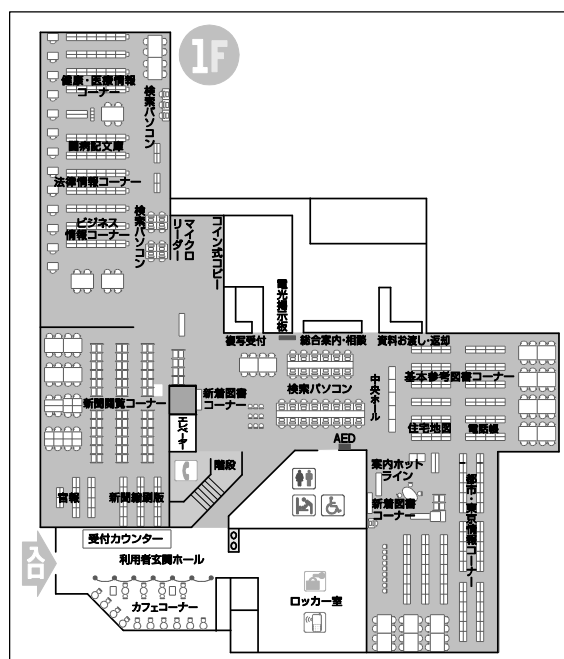
日本及び世界各国の百科事典、語学辞典類（一部）、書誌目録類のほか、各主題に関する基本参考図書があります。また、全国の電話帳、東京都及び近接県の最新の住宅地図を備えています。

○ カフェコーナー

緑に囲まれながら、休息のひと時を楽しんでいただけます。



▲中央図書館



▲都市・東京情報コーナー

2階

○ 社会・自然科学系 資料・閲覧室

情報科学、政治、経済、財政、統計、社会学、教育、自然科学、工学、農林水産業、商業、交通、通信等の図書約 11 万冊を開架しています。また、JIS（日本工業規格）、JAS（日本農林規格）、ISO（国際規格）、重要文化財等の修理工事報告書約 1,500 冊を備えています。

3階

○ 人文科学系 資料・閲覧室

図書館学、哲学、歴史、地理、風俗習慣・民俗・民族、芸術、スポーツ、語学、文学等の図書約 16 万冊を開架しています。全国でも有数の「地方史コーナー」は、県史・市町村史約 3 万冊を自由に閲覧できます。美術資料を集めた一角では、約 1 万冊の大型美術書をゆったり楽しむことができます。そのほか、人名事典・名簿・肖像などの人物に関する情報や、様々な分野の参考図書と新刊図書を中心とする約 1 万冊の中国語資料や韓国・朝鮮語資料があります。

○ 視覚障害者サービス室

視覚障害者等に対して、対面音訳、録音図書の製作・貸出、点字図書の製作・貸出を行っています。

対面音訳室は 4 室あり、録音図書（ディジー図書を含む。）5,881 点、点字図書 629 点、点字雑誌 8 種等の資料が利用できます。また、利用者自身が音の出るパソコンを使って調べものをすることもできます。

4階

○ 閲覧室

ほぼ全席がパソコン席で、公衆無線 LAN が利用できます。

○ 企画展示室

東京や都立図書館の魅力を発信するテーマを設けて、大型の企画展示をタイムリーに開催しています。

○ グループ閲覧室

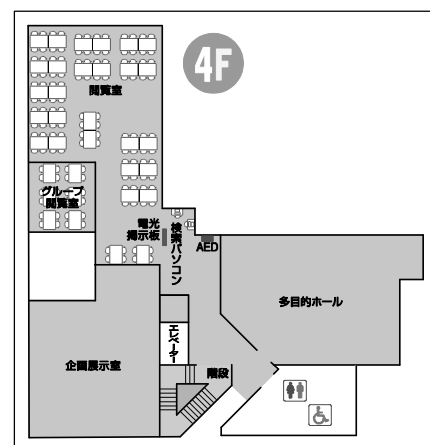
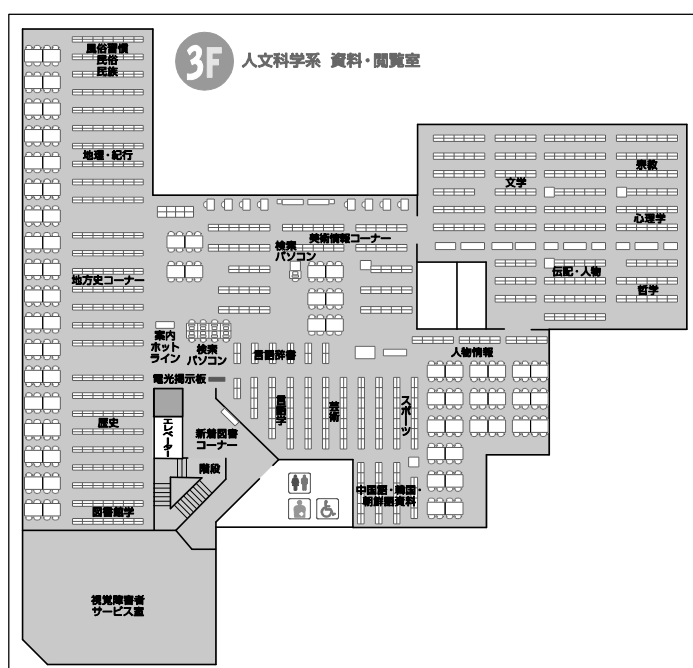
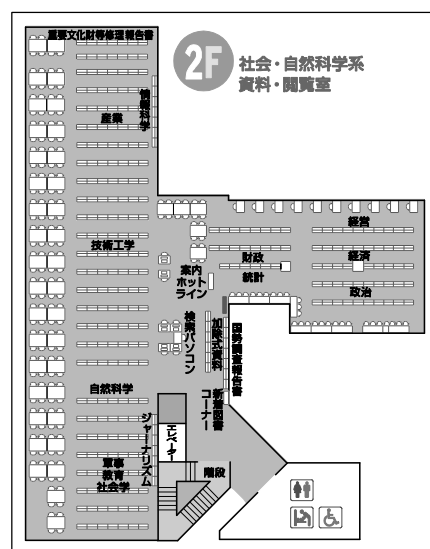
図書館の資料を活用しながら、グループでの学習・調査研究活動に利用できます。

○ 多目的ホール

図書館関係の各種研究大会、会議、講演会等に使用されます。



▲企画展示室



5階

○ 閲覧室

静かな環境で調べものや読書をするための閲覧室で、パソコンの持ち込みはできません。

○ 音声・映像資料室

図書や雑誌だけでは調査が不十分なものや、十分な理解が得られないものなどを補うために、レコード、コンパクトディスク、録音テープ、レーザーディスク、ビデオテープ、DVD等、約17,500点を所蔵し、ご利用いただけます。

○ セミナールーム

図書館利用に関するガイダンスやパソコンを使った説明会・研修等に使用しています。ノートパソコンや電動式スクリーンを備えています。

○ 特別文庫室

東京誌料、加賀文庫、市村文庫、諸橋文庫等の資料約243,000点(冊)をすべて書庫に保管し、資料請求票に基づき利用に供しています(p.31~32参照)。

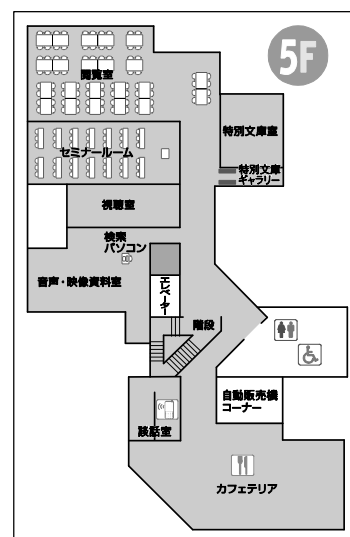
また、資料のデジタル化事業を進め、保存と有効活用を図るとともに、ホームページの「東京都立図書館デジタルアーカイブ(TOKYOアーカイブ)」で一部を公開しています。

○ 談話室

携帯電話の利用、自動販売機で購入した飲み物を飲むことができます。

○ カフェテリア

東京タワーや六本木のビル群が一望でき、夜景も楽しめます。食事をしながらくつろいでいただけます。



=各階=

◆ 蔵書検索パソコン・オンラインデータベース用パソコン

各階に蔵書検索パソコン、1階にはオンラインデータベース用、インターネット用パソコンを設置しており、図書と併せて利用することができます。

◆ 新着図書コーナー

1階から3階の入口付近に、新着図書を展示しています。

◆ パソコン席

1階から4階に、290席あります。

◆ 案内ホットライン

1階から3階に案内ホットライン専用電話が設置してあり、司書職員を呼んで相談することができます。

◆ バリアフリー対応等

- ・1階受付で、車椅子の貸出をしています。
- ・1階新聞閲覧コーナー、2階資料・閲覧室、3階視覚障害者サービス室に、拡大読書器があります。
- ・1階と2階の多目的トイレには、おむつ替え用サークル、3階多目的トイレには、オストメイト対応設備があります。
- ・1階と4階にAEDを設置しています。

【建物概要】

昭和48年1月 新築、開館
平成7年7月~平成8年5月 施設・設備改修
平成20年5月~12月 施設・設備改修
鉄筋鉄骨コンクリート 地上5階、地下2階
敷地面積 9,157.21 m²
延べ床面積 延23,196.21 m²
書庫収蔵能力 約208万冊(うち、開架35万冊)
閲覧席 902席(スツール席含め、1,018席)
建物内全面禁煙

【各階の閲覧席数】

1階	中央ホール	32
	重点的情報コーナー	33
	新聞閲覧コーナー	32
	都市・東京情報コーナー	30
2階	資料・閲覧室	193
3階	資料・閲覧室	292
4階	閲覧室	144
	グループ閲覧室	24
5階	閲覧室	88
	音声・映像資料室	24
	特別文庫室	10

(2) 多摩図書館

多摩図書館は、「東京都多摩教育センター」1階にあります。

17,000 誌の雑誌がご利用いただける「東京マガジンバンク」と「児童・青少年資料サービス」を中心とした情報サービスを提供しています。

閲覧室を「雑誌、創刊号、児童、青少年、展示、新聞」の各専門エリアに分け、特色あるサービスを行っています。



▲ 多摩図書館
(東京都多摩教育センター内1階)

○ 総合カウンター

利用者受付、相談カウンター、出納カウンターが一体化され、レファレンスのほか、検索支援や出納などを行っています。



▲ 東京マガジンバンク

せコーナー等でゆっくり本を読むことができます。また、研究書コーナーや読み聞かせ絵本のコーナーがあり、保護者の方や子供の読書に関わる方を支援しています。

○ 青少年エリア

中高生世代に向けた小説や調べ学習に役立つ資料のほか、キャリアデザインコーナーなどを設置し、さまざまなテーマによる読書や資料の活用法を提案しています。カウンター席で落ち着いて読書や学習ができます。

○ 展示エリア

入口通路に面した「展示エリア」では、東京マガジンバンクや児童青少年の資料について、タイムリーな企画展示を定期的に行っています。

○ 雑誌エリア

所蔵する継続刊行中の雑誌約 5,700 誌から選んだ 534 誌を、25 のジャンルに分けて配架しています。

最新号や約 1 年分のバックナンバーを手にとりご覧いただけます。

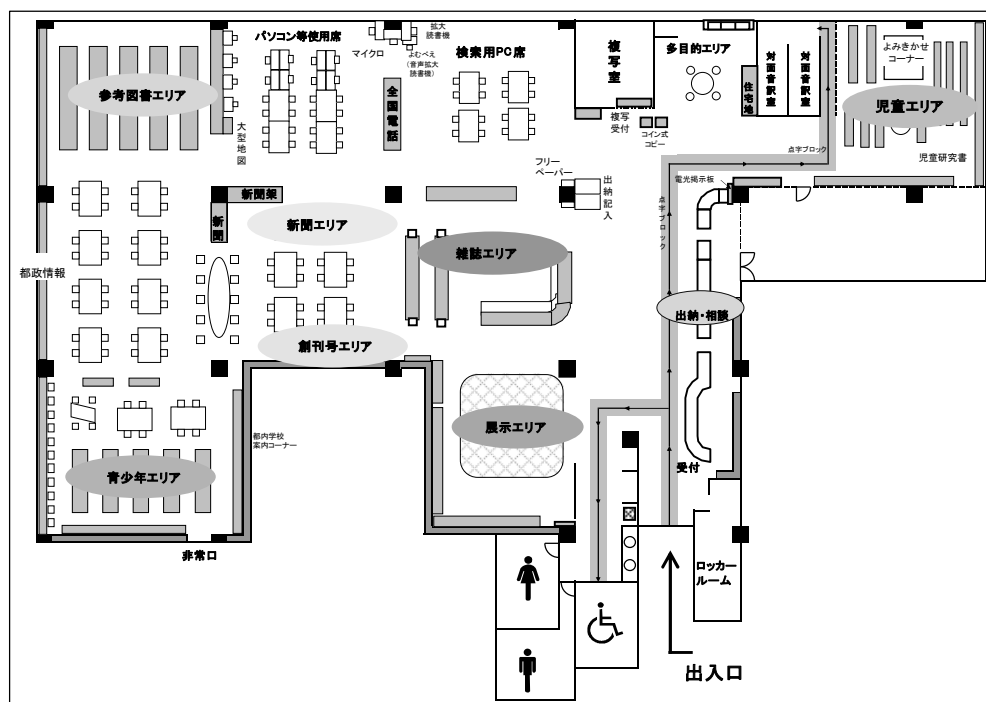
○ 創刊号エリア

年代別に並べられた雑誌の創刊号を見ることができます。

当館所蔵の創刊号コレクション約 6,380 誌から選んだ雑誌の表紙をパネル展示しています。

○ 児童エリア

小学生までを対象に選びぬいた児童書があり、読み聞かせ



○ 新聞エリア

所蔵する約165紙のうち、全国紙、専門紙など約50紙について最近の新聞を閲覧することができます。原紙のほか縮刷版・マイクロフィルムも所蔵しています。マイクロフィルムを閲覧するための機器（マイクロリーダー）も備えています。

○ 対面音訳室

視覚障害者等のための対面音訳サービス及び録音図書の作成を行う部屋です。

閲覧室には、このほか、調べものに必要な参考図書約3,000冊を備えた「参考図書エリア」や東京都各局の最近の主要刊行物約1,500冊を集めた「都政情報コーナー」、全国の電話帳があります。

また、都立図書館の蔵書検索やデータベースの検索ができる検索パソコンエリアがあります。

○ その他

閲覧室と別に、学校での読書活動に役立つ資料を設置した「セミナールーム」があります。学校の授業での活用ができます。また、地下には書庫とフィルム保管庫があります。

〔建 物 概 要〕

（東京都多摩教育センター）

昭和62年5月 新築、開館
平成21年1月～3月 施設・設備改修
鉄筋鉄骨コンクリート 地上4階、地下2階
敷地面積 9,161 m²
延べ床面積 延 19,998 m²
建物内全面禁煙

（多摩図書館）

東京都多摩教育センターの
地上1階、地下1,2階の一部
専用延床面積 延 4,351.1 m²
書庫収蔵能力 約103万冊
(うち、開架3.8万冊)
閲覧席 135席
(スツール席含め、158席)

多摩図書館は、平成29年1月に、現在の立川市から国分寺市へ移転する予定です。

【完成予想図】



事業概要 平成27年度版

登録番号（27）第13号

主要刊行物指定

平成27年8月31日 発行

編集・発行 東京都立中央図書館

〒106-8575 東京都港区南麻布五丁目7番13号

電話 03-3442-8451(代)

印刷会社名 株式会社 アライ印刷



この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。



古紙・ハルフ配合率 70%再生紙を使用しています
石油系溶剤を含まないインキを使用しています

